

令和7年度使用中学校用教科用図書

専門員調査研究報告書

令和6年8月9日（金）

埼玉県第四採択地区教科用図書採択協議会

目次

国語	1 ~ 4
書写	5 ~ 8
社会 (地理)	9 ~ 12
社会 (歴史)	13 ~ 20
社会 (公民)	21 ~ 26
地図	27 ~ 28
数学	29 ~ 35
理科	36 ~ 40
音楽 (一般)	41 ~ 42
音楽 (器楽合奏)	43 ~ 44
美術	45 ~ 47
保健体育	48 ~ 51
技術	52 ~ 54
家庭	55 ~ 57
英語	58 ~ 63
道德	64 ~ 70

種目（国語）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>新編 新しい国語</p>	<p>2</p> <hr/> <p>東書</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○文法の取扱いでは、導入である「文法の窓」と詳しい解説である「文法解説」の2部構成になっており、学習者が学びやすいように工夫されている。</p> <p>○各学年に「情報と論理の学び」が設定されており、情報の取扱いについて体系的に学ぶことができるように工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○日常生活や社会生活を題材にした言語活動が各学年で取り上げられているとともに、他教科との関連も示されており、国語の学習を基盤として教科等横断的な視点で学習できるように工夫されている。</p> <p>○各学年に1年間のまとめとして「未来への扉」という教材が設定されており、各学年で身に付けた言葉の力を生かして自分の考えを深められるように工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○教材ごとに「てびき」を設け、見通しから振り返りまでの学習の流れをつかむことができるようになっている。巻末には「言葉の力」一覧を設け、3年間の学習の見通しをもつことができるようになっている。</p> <p><読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成するための工夫></p> <p>○各学年に「読書案内」や「資料編」を設けている。「資料編」では、教材に関連する別の小説や説明文、古典作品を掲載し、読み比べたり読み広げたりすることができるようになっている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○各教材に、文章を読み取る際の補助となるカラーの写真や挿絵、資料が掲載されている。また、文章への理解を深めるための動画をデジタルコンテンツとして掲載されている。</p> <p>○巻末に「資料編」を設け、学習に役立つ資料や「読むこと」教材に関する別の小説や説明文を掲載している。また、領域間の関連や学習の系統性を確認することができる「言葉の力」一覧を掲載している。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○「読むこと」教材では、文章の行数を示す「5」「10」「15」の間を「・」で表記している。また、各頁の柱は、カラーユニバーサルデザインの観点から、領域・系統ごとの配色とともに教材名が掲載されている。</p> <p>○新出漢字は、脚注に掲載行数と併せて1文字ずつ掲載されている。また、巻末の資料編に新出漢字一覧が掲載されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○「読むこと」教材の「てびき」と「学びを支える言葉の力」教材が連続する構成になっており、基礎的な力を習得し活用できるようになっている。</p> <p>○他教科等の学習内容と関連する題材が取り上げられており、教科等横断的な視点で学習を進められるようになっている。</p> <p>○デジタルコンテンツにつながる二次元コードが随所に配置されており、個別最適な学びが実現できるように配慮されている。</p>	

種目（国語）

<p>書名 項目</p>	<p>現代の国語</p>	<p>15 三省堂</p>
<p>内容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○「読むこと」の脚注に掲載している意味を調べる語と、対義語や類義語を同時に掲載し、語彙を広げることができるように工夫されている。 ○「情報の扱い方」に関する単元が設定されており、情報を関連付けて考えを深めることができるように工夫されている。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○巻頭で、9種類の「思考の方法」とチャートを具体的な教科書教材とともに掲載し、国語科の学習や他教科の学習、日常生活や社会生活で活用できる力を付けられるよう工夫されている。 ○巻末に22種類の「読み方を学ぼう」一覧を掲載し、各学年の系統性をつかむことができるように工夫されている。また、「こんなときに使える（一例）」を示し、実際の学習に生かすことができるように工夫されている。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○教材ごとに「学びの道しるべ」を設け、見通しをもって学習ができるように工夫されている。また、「読むこと」と「書くこと」の学習を関連付けて単元を配置し、既習内容を生かすことができるように工夫されている。 <読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成するための工夫> ○教材ごとに、「私の本棚」として題材に関連したテーマの作品を紹介している。資料編には、テーマごとに本を紹介した「小さな図書館」や作家が読書に関する体験を語る「私の読書体験」を掲載している。</p>	
<p>資料</p>	<p>○古典の教材において、これまで学習した作品名と学年を示した年表を掲載し、文学史の流れと学習の系統性を視覚的に学習できるように工夫されている。 ○巻末に、読書感想文の書き方、質問の仕方、学習用語辞典などの「資料編」を設け、補充学習ができるようになっている。また、「読み方を学ぼう（一覧）」を設け、学習した読みの方略を確認できるようになっている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○文章の行数は、「5」「10」「15」で表記されている。また、カラーユニバーサルデザインの観点をふまえ、特に大事な部分が色付けされて示されるなど、色覚の特性が考慮されている。 ○新出漢字は、脚注に掲載行数と併せて1語で掲載されている。また、巻末の資料編に新出漢字一覧が掲載されている。</p>	
<p>総括</p>	<p>○各教材における付けたい力や「読み方」や「思考の方法」を示し、「学び方」をつかめるようになっている。 ○「読むこと」の学習に関連付けた「書くこと」教材を配置し、系統的に学習を進められるようになっている。 ○デジタルコンテンツにつながる二次元コードが随所に配置されており、個別最適な学びが実現できるように配慮されている。</p>	

種目（国語）

<p>書名 項目</p>	<p>伝え合う言葉 中学国語</p>	<p>17 教出</p>
<p>内容</p>	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞ ○文法の取扱いでは、英語との関わりを取り上げており、教科横断的な視点で学習ができるように工夫されている。 ○「読むこと」教材に続いて情報に関わる教材が掲載されており、「読むこと」教材と関連付けながら情報の扱い方を学べるように工夫されている。 ＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞ ○「話すこと・聞くこと」と「書くこと」の二つの領域を関連付けたコラム教材「言葉と社会」を各学年で掲載し、社会生活における表現力を高められるように工夫されている。 ○教材の最初に「学びナビ」を設け、学習の過程を解説と図解で示し、学習活動の内容を視覚化している。重点を明確にして学習に取り組むことができるように工夫されている。 ＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞ ○教材の最初に掲載している「学びナビ」や学習の手引きとして掲載している「みちしるべ」により、学習の見通しや系統性を確認しながら学習を進めることができるようになっている。 ＜読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成するための工夫＞ ○学習した文章と関係が深い本や同じ作者の本が紹介されている「広がる本の世界」が單元ごとに設定されている。また、図書館の活用や読書交流を各学年に設定し、読書の幅を広げられるように工夫されている。</p>	
<p>資料</p>	<p>○文章の理解を助ける表やグラフ、言語活動を充実させるための思考ツールや現代社会の課題であるSDGsを掲載し、学習が深まるように工夫されている。 ○巻末に、言葉と文法の学習をまとめた「言葉と文法解説編」とレポートの書き方や著作権、情報などを取り扱った「言葉の自習室」を掲載し、学習内容を振り返ることができるようになっている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○「読むこと」教材では、文章の行数を示す「5」「10」「15」の間を「・」で表記している。また、カラーユニバーサルデザインの観点をふまえ、各学年の基本色を設定している。 ○新出漢字は、脚注に1文字ずつ掲載されている。また、巻末に、新出漢字一覧が掲載されている。</p>	
<p>総括</p>	<p>○各学年にコミュニケーションに関連する教材を配置し、系統的に学習しながら、社会生活に必要な表現方法を身に付けられるようになっている。 ○教材ごとに重点的に学ぶ事項を「学びナビ」「ヒント」「目標」などで示し、系統的に学習を進められるようになっている。 ○デジタルコンテンツ「まなびリンク」につながる二次元コードが各教材に配置されており、各領域の学習内容を補完できるように配慮されている。</p>	

種目（国語）

<p>書名 項目</p>	<p>国語</p>	<p>38 光村</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○各学年の巻末に「語彙ブック」を掲載し、学習者が思考や感情を的確に言語化できるように工夫されている。 ○SDGsを題材とした「情報×SDGs」を各学年に配置し、3年間を通して系統的に情報活用能力を身に付けられるように工夫されている。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「読むこと」教材での学びを「話すこと・聞くこと」「書くこと」の活動に結び付けることができるように、単元の構成が工夫されている。また、さまざまな言語活動を設定し、社会生活に生かせるようになっている。 ○各学年の巻末に「学びのカギ」一覧を掲載している。文学的な文章、説明的な文章、話すこと・聞くこと、書くことに関する1年間で学ぶ基本的な観点を整理し、学習者が振り返ることができるようになっている。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○巻頭に「学習の見通しをもとう」を掲載し、身に付ける力や学習の系統性がわかるようになっている。また、各教材に「学びへの扉」が掲載されており、学習の見通しをもつことができるようになっている。 <読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成するための工夫> ○各教材に「広がる読書」を掲載するとともに、「いつも本はそばに」や「本の世界を広げよう」を掲載し、読書への意欲を高めることができるように工夫されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○巻頭に「思考の地図」を掲載し、思考ツールや図解などを示すことにより、場面や目的に応じた考え方を使い、課題を解決することができるようになっている。 ○巻末に「ICT活用のヒント」が掲載されており、各領域におけるICT機器活用の効果的な場面を示すことで、学習者が主体的に活用できるように工夫されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○「読むこと」教材では、文章の行数を示す「5」「10」「15」の間を「・」で表記している。また、カラーユニバーサルデザインの観点をふまえ、図表は線の種類や濃淡などでも識別できるようになっている。 ○新出漢字は、脚注に1文字ずつ掲載されている。また、巻末に、新出漢字一覧が掲載されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○各学年の最後に「国語の力試し」を設け、身に付けた資質・能力を活用してCBT形式の問題に取り組むことができるようになっている。 ○1年生の巻頭教材や3年生の論説、古典の教材を通して、小・中・高校間の円滑な接続ができるように工夫されている。 ○デジタルコンテンツにつながる二次元コードが各教材に配置されており、個別最適な学びが実現できるように配慮されている。</p>	

種目（書写）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>新編 新しい書写</p>	<p>2</p> <hr/> <p>東書</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○各単元に文字を整えて書くためのポイントである「書写のかぎ」を設け、学習の基礎・基本や知識及び技能が習得できるように工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○身近な活動を題材にした「生活に広げよう」を設け、書写で身に付けた力を生かして活動することにより、日常生活や社会生活につなげることができるようになっている。</p> <p>○1年生「身につける」、2年生「使い分ける」、3年生「使いこなす」と学習段階を設定し、3年間の系統性を踏まえて指導することができるように工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○「見つけよう」「確かめよう」「生かさそう」の学習過程で目標と振り返りを1ページで掲載し、見通しをもって学ぶことができるように工夫されている。</p> <p><毛筆と硬筆との関連></p> <p>○硬筆で課題を発見し、毛筆で実際に確かめ、硬筆で生かすという学習過程をとおして、硬筆と毛筆の関連性を図るようになっている。</p> <p><各教科や社会生活との関わり></p> <p>○他教科と関連している単元や教材に教科関連マークをつけ、意識付けを図ることができるようになっている。また、「お礼状」「レポート」「ポスター」などの題材を取り上げ、社会生活との関連を図るようになっている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○二次元コードが教材に掲載されており、動画や資料などのデジタルコンテンツを見ることができるようになっている。授業や家庭学習の場面で活用ができ、個別最適な学びができるようになっている。</p> <p>○巻末に「書写活用ブック」が掲載されている。さまざまな書式や硬筆字典、ノートを取り方、レポートの書き方を取り上げ、日常生活や社会生活に生かすことができるようになっている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○他教科と関連している単元や教材については、ページの右下に記号をつけている。教科等横断的に指導できるように工夫されている。</p> <p>○右利きでも左利きでも対応できるように、教材文字を上、書き込み欄を下に配置している。また、小さな文字にはユニバーサルデザインフォントを使用し、読み誤りがないように配慮している。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○原則として学習内容は1単元1事項であり、各教材が見開きで構成されている。右ページに学習目標と学習過程が掲載され、左ページに学習文字が掲載されている。</p> <p>○1・2年生に「行書のまとめ」、各学年に「書写テストに挑戦！」を設け、学習の振り返りを図ったり、書写の知識や技能の定着を図ったりすることができるようになっている。</p>	

種目（書写）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>現代の書写</p>	<p>15</p> <p>三省堂</p>
<p>内容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○各教材の冒頭に「書き方を学ぼう」を設定し、書き方のポイントを整理して示すことで、基礎・基本の定着につながるように工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○「書いて身につけよう」で日常的に使う言葉を練習したり、「身のまわりの文字」などで文字文化への認識を深めたりすることによって、社会生活で生きる力を身に付けられるように工夫されている。</p> <p>○各学年末に「やってみよう」を設定し、「グループ新聞」や「情報誌」、「名言集」を作成する活動を通して、書写で学習したことを生かして書く力を高めることができるようになっている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○冒頭で「教材の構成」と「学習の流れ」を示し、学習の見通しをもって主体的に学ぶことができるように工夫されている。</p> <p><毛筆と硬筆との関連></p> <p>○毛筆で基本点画や筆使いの特徴を学んだ後、硬筆教材「書いて身につけよう」で確かめる構成になっており、毛筆と硬筆の関連性を図るようになっている。</p> <p><各教科や社会生活との関わり></p> <p>○「やってみよう」や「書いて身につけよう」を設け、国語や他教科と関連する教材を取り扱うことで、教科横断的な視点で書写の学習を行うことができるように工夫されている。</p>	
<p>資料</p>	<p>○教材ごとに解説動画につながる二次元コードが掲載されており、書き方の細かなポイントや姿勢、筆の運び方などを動画で確認できるようになっている。また、学習したことを振り返ることができる「学力テスト問題」が掲載されている。</p> <p>○巻末に「日常の書式」と「書写の広場」から構成される「資料編」が掲載されている。「日常の書式」では、手紙、送り状、のし袋、願書、原稿用紙など、学習場面や社会生活での書字をサポートする例を示している。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○内容に応じて文字の大きさや書体を使い分けたり、図や挿絵を配置したりして、学びやすいように工夫されている。</p> <p>○毛筆学習では穂先と筆の付け根が朱墨・薄墨で色分けされて示されており、筆使いや筆脈が理解できるように工夫されている。また、具体的な書き方のポイントは色分けと記号、番号、説明文などを使用し、読みやすさに配慮している。</p>	
<p>総括</p>	<p>○各教材が見開きで構成され、毛筆学習では、右ページに学習目標や書き方のポイントが掲載され、左ページに学習文字が掲載されている。また、全教材に学習目標と振り返りが明示されており、主体的に学習が進められる構成となっている。</p> <p>○冒頭の「学習のはじめに」や楷書の教材で、小学校の既習事項を整理して掲載したり、「書の古典」で高等学校につながる内容を掲載したりして、校種間の接続を意識した構成になっている。</p>	

種目（書写）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>中学書写</p>	<p>17</p> <hr/> <p>教出</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○基本姿勢や用具の持ち方、筆使いなどの基礎・基本につながる内容を、写真や図版を活用して掲載し、学習が身に付くように工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○ICTツールである「比較ツール」を使用して、学習者の作品と教科書の手本や、試し書きとまとめ書きを比較することで、課題の達成度を視覚的に確認できるようになっている。</p> <p>○各学年に配置されている「学習を生かして書く」や、1年生に配置されている「学校生活に生かして書く」では、書写で身に付けた力を確認したり、日常の学習に生かしたりすることができるようになっている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○冒頭の「学習の進め方」に沿って各教材が設定されており、学習の見通しをもって主体的に学ぶことができるように工夫されている。</p> <p><毛筆と硬筆との関連></p> <p>○毛筆教材の初めに硬筆による試し書きを設けたり、終わりに硬筆によるまとめ書きと応用を設けたりして、毛筆と硬筆の関連を図るようになっている。</p> <p><各教科や社会生活との関わり></p> <p>○巻末に「書式の教室」が掲載されており、手紙の書き方や電子メールの書き方、願書の書き方などを取り上げ、社会生活との関連を図るよう工夫されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○二次元コード「まなびリンク」が掲載されており、運筆を動画で確認することができるようになっている。また、ワークシートが収録されており、学習したことの記録や振り返りができるようになっている。</p> <p>○1・2年生に「コラム」が掲載されており、文字の変遷や日本建築と「書」など、文字に関して歴史と結びつけながら紹介している。社会科を中心に、教科横断的な視点で学習できるようになっている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○ユニバーサルデザインフォントを使用したり、書写の学習用語は本文と書体を変えて赤の太字で示したりするなど、読みやすさに配慮している。</p> <p>○毛筆では、穂先の通り道を朱墨で示して筆使いがわかるように配慮されている。また、ユニバーサルカラーに配慮し、色覚等の特性をふまえた判読しやすい配色になっている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○各教材が見開きで構成され、毛筆学習では、右ページに学習文字が掲載され、左ページに学習目標や学習過程が掲載されている。また、全教材に学習目標と振り返りが明示されており、主体的に学習が進められる構成となっている。</p> <p>○小学校と中学校で同じ図版を使用したり、巻末に発展として高等学校の学習につながる「芸術としての書道」を掲載したりして、校種間の接続を意識した構成になっている。</p>	

種目（書写）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>中学書写</p>	<p>38</p> <p>光村</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○各教材に学習のポイントを示した「学びのカギ」が設けられている。文字を書く際の基礎・基本や原理・原則が身に付くように工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○各教材の初めに、文字の原理・原則を考えたり話し合ったりする「考えよう」を設け、思考や対話を通して主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>○3年生に「手書きのよさって何だろう」を設け、手書きの価値について考えたり、全学年に地域ゆかりの活字を扱ったコラムを設け、文字や文字文化への理解や関心を高めたりすることができるようになっている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○各教材が、「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の3段階で構成されており、学習の見通しをもって主体的に学ぶことができるよう工夫されている。</p> <p><毛筆と硬筆との関連></p> <p>○別冊の硬筆練習帳「書写ブック」を設け、毛筆で学んだ学習内容を硬筆に生かし、繰り返し学ぶことで、書く力を身に付けられるようになっている。</p> <p><各教科や社会生活との関わり></p> <p>○全学年で国語教科書と連動した教材を設定するとともに、巻末に「日常に役立つ書式」を掲載し、手紙の書き方や入学願書の書き方、レポートの書き方などを取り上げ、社会生活との関連を図るよう工夫されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○各教材に二次元コードが掲載されており、書くときの姿勢や筆使いなどの解説動画や、文字文化への理解が深まる写真が収録されている。また、左利き用紙面などを掲載した補充教材が収録されている。</p> <p>○巻末に「書き初めマスターブック」を設けている。書き初めの由来や地域の書き初め文化が紹介されており、文字文化への理解を深めることができるようになっている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○文字の大きさについて、主たる学習要素は大きく丁寧に、付随する要素については小さく簡潔に示し、学習者が内容をつかみやすくなっている。</p> <p>○単元名や目次には、読みやすさと見やすさを配慮してユニバーサルデザインフォントを使用している。また、毛筆では、穂先の動きを朱墨で示し、わかりやすさに配慮している。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○学習内容は1単元1事項であり、各教材が見開きで構成されている。行書の基本的な書き方を学ぶ教材では、教科書見開きで半紙原寸大の手本を掲載し、学びやすさに配慮している。</p> <p>○巻頭に小学校での学習内容をまとめた「中学校書写スタートブック」を設けたり、1年生の教材や巻末に高等学校の学習につながる教材を設けたりして、校種間の接続を意識した構成になっている。</p>	

種目（地理）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>新編 新しい社会 地理</p>	<p>2</p> <hr/> <p>東書</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○難しい用語を解説する「もっと解説」や、学習のまとめページに本文に登場した用語を自分の言葉で説明できるか確認する「ワードチェック」があることで、理解度が高まるよう工夫されている。 ○資料の読み取りや分析の手法を習得する「スキルアップ」と、身に付けた技能を活用するコーナーが設けられている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○地理的分野の見方・考え方が、最初に示され、1単位時間の学習内容をまとめる「チェック&トライ」により、生徒の思考力・判断力等を高める工夫がされている。 ○多様な思考ツールを紙面とQRコードで使用でき、思考を整理しやすい。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○導入のページで、生徒の興味・関心を引き付ける情報が多く掲載されているとともに、単元の見通しを持たせるコーナーが新設されている。 ○各見開きの最初に、「導入資料」を掲載し、生徒が学習にスムーズに入れる工夫がなされている。 <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「課題をつかむ」「課題を追求する」「課題を解決する」という構成であり、問いを中心に課題解決的な学習が進めやすくなるよう工夫されている。 ○「5つのテーマ」が設定されており、分野や教科の垣根を越えて「これからの社会のあるべき姿」を考えられるようになっている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○紙面上に多くの写真や資料が掲載されている。 ○QRコンテンツが充実しており、生徒のつまづきを補うシミュレーションや動画などの様々なコンテンツを活用することができるなど、生徒が興味・関心をもって学習を進められるようになっている。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○カラーユニバーサルデザインに全対応しており、ユニバーサルデザインフォントが採用され、文字の視認性が高められている。 ○グラフや地図などでは、読み取りづらい破線や点線を減らし、紙面が見やすくなるよう配慮されている。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○全体的に生徒が課題解決型の学習をしやすいように、構成、まとめのページなどが工夫されている。また、デジタルコンテンツが充実しており、紙面の内容の補完が十分になされている。ユニバーサルデザインにも配慮され、誰一人取り残さない学習の実現につながる工夫が数多くある。 ○思考を整理する様々なツールや資料を活用ができ、生徒一人一人の地理的な見方や考え方を育成する工夫がされている。 	

種目（地理）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>中学社会 地理 地域にまなぶ</p>	<p>17</p> <hr/> <p>教出</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開き右ページの最後に、学習したことを整理しながらまとめる活動として「確認」のコーナーが設けられ、学習事項の確実な定着を図ることができるようになっている。 ○「地理の技」コーナーでは、地理の学習で身に付けたい技能や表現力を鍛えることができるようになっている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開き右ページの最後に、「表現」のコーナーが設けられており、説明や話し合いなどの表現活動を、段階的に取り組めるよう工夫されている。 ○「THINK!」や「Q」のコーナーが適宜設けられ、資料を読み取って考察する学習活動が重視されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○最後のまとめの活動として「地域の在り方」が位置付けられており、生徒が課題を設定し、調査、考察を行い、解決策を考えたり提案したりする活動が取り入れられている。 ○地域の課題と日本や世界の課題の結びつきに気づき、持続可能な社会を形成していこうとする態度の育成につながる構成となっている。 <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○導入、本時、学習の振り返り、特設ページの流れで単元が構成されており、問いを軸にして課題解決をしていく構成となっている。 ○明示された「学習課題」から展開していく課題解決的な学習の流れに沿った教材や資料が掲載されている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各資料には通し番号が振られ、わかりやすくなっている。 ○見開き右ページ下に、「関連マーク」を付して歴史的分野・公民的分野との連携を図る工夫がなされている。また、地域の歴史に関する記述や資料が多く取り上げられている。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○カラーユニバーサルデザインに基づく紙面づくりやユニバーサルデザインフォントの採用により、文字が見やすくなっている。 ○図版資料は、配色や形状などの表示に工夫がみられ、判読しやすいよう配慮されている。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○単元を通して、導入、活動、まとめの課題解決型学習の構成になっている。章の学習を見通す導入ページでは、中心となるような資料とそれに関わる問いを示し、これから学習する内容を概観するとともに、見通しをもって学習を進められるよう配慮されている。 ○具体的な手がかりや問いかけが設定され、地理的な見方・考え方をを用いて、資料活用の技能を向上させられるよう配慮されている。 	

種目（地理）

<p>書名 項目</p>	<p>社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土</p>	<p>4 6 帝国</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○「導入」→「学習課題」→「本文」→「確認しよう」「説明しよう」の展開で見開き1時間の紙面が構造化され、基礎的・基本的な知識および技能が確実に理解できるように工夫されている。 ○「技能をみがく」コーナーが設けられ、「地理的見方・考え方」を働かせる上で必要な基礎的な技能が習得できるように配慮されている。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○見開き右下に本時の学習内容を活用して思考を促し、思考力・判断力・表現力を育成できるように配慮されている。 ○各章や節末に掲載されている「学習を振り返ろう」では、思考ツールを用いて考えを整理・構造化できるように配慮されている。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「アクティブ地理」では、対話的な学習を通して、課題に粘り強く向き合い、さまざまな立場を踏まえて合意形成を目指す態度を身に付けられるように工夫されている。 ○背景や因果関係まで書かれた本文と関心を高める写真や資料により、知的好奇心を高める工夫がされている。 <課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫> ○単元を貫く問いや見開き1時間の「学習課題」や単元末の「学習を振り返ろう」のように、課題解決的な学習ができるよう問いが構造化されている。 ○「章・節の問い」に対して「地理的な見方・考え方」を働かせて考えるステップなど、課題解決的な学習ができる工夫がなされている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○興味・関心を高める写真や資料が豊富で、写真や地図、グラフなどが大きく見やすく提示されている。「資料活用」で資料の活用が促されている。 ○QRコンテンツが充実しており、一人一台端末で個別最適な学びが実現できるようになっている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○配色やレイアウト、表現方法、文字などにユニバーサルデザインの視点を取り入れられ、重要項目が分かりやすく表記されている。 ○学習内容に関連する参照資料や図番号などのリンクがわかりやすく表記され、資料を活用しやすい工夫がある。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○単元を貫く問い、学習課題、単元の振り返りと、問いが構造化され、主体的、対話的で深い学びの実現につながる構成となっている。また、「アクティブ地理」などの、課題解決型の学習につながるページやQRコンテンツの充実により、個別最適な学びと協働的な学びの視点も取り入れられている。 ○3つの資質・能力を育成する場面が設けられていることで、3つの観点に基づいた「指導と評価の一体化」が実現できるようになっている。</p>	

種目（地理）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>中学社会 地理的分野</p>	<p>116</p> <hr/> <p>日文</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開き右ページ下に、確認コーナーと表現コーナーが設けられ、習得した知識・技能を用いて文章化・言語化できるように工夫されている。 ○スキルUPでは、生徒の発達の段階に応じて、地理的技能を系統立てて習得できるよう、地理的分野の学習に必要な地理的技能を分類して整理している。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○思考力・判断力・表現力の向上を図るためにトライ・スキルUP・資料活用コーナー等を活用して、表現をする場面を毎時間設定している。 ○まとめとふり返りでは、習得した知識を活用し、生徒が単元を貫く問いについて自分の考えをまとめ、論理的に説明したり、議論したりするなどの言語活動に関わる活動ができるようにしている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒が学習の見通しをもったり、振り返ったりできるように、単元を貫く問い（編の問い、章の問い、節の問い）を構造的に設定している。 ○各単元末に「まとめとふり返り」を設け、主体的に学習に取り組む態度の見取りができるよう工夫されている。 <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○世界の諸地域、日本の諸地域では「節の問いを立てよう」で自ら問いを立て、課題解決型の学習につなげることができる。 ○教科書全体で、持続可能な社会について自分ごととして捉え、考えられるような構成となっている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地理的事象を具体的にイメージできる資料が豊富に掲載され、資料を読み取る活動が適宜設定されており、資料活用能力向上を図ることができる。 ○QRコンテンツではさまざまな資料や動画が充実しているとともに、声のコーナーでさまざまなインタビューが掲載されている。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○カラーユニバーサルデザインやユニバーサルフォントに配慮されており、文字の視認性が高められている。 ○見開きページの右端に、インデックスを設けて、生徒が学習している単元を常に確認できる工夫がされている。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○指導と評価の計画に基づいた単元構成となっている。地理的な見方・考え方が分かりやすく明示され、それを常に念頭に置きながら学習できるようになっている。 ○新しい時代を担う主権者を育てることに重点が置かれ、持続可能な社会について考えることができる多様な教材が掲載されている。特に、SDGs や災害・防災について大きく扱っている。 	

種目（ 歴 史 ）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>新編 新しい社会 歴史</p>	<p>2</p> <hr/> <p>東書</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○資料の読み取りを促す問いや資料を読み取る上でのヒントとなる見方や考え方には共通のマークが示されており、資料読み取りの基礎的な知識や技能を身に付けることができるような工夫がされている。</p> <p>○歴史的事象の背景や因果関係が分かりやすく書かれてあるなど、幅広い知識と教養を身に付ける工夫がされている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○歴史的な見方・考え方を働かせた深い学びが行えるように第1章1節で「歴史をとらえる見方・考え方」がまとまっている。また、学習の過程においても「見方・考え方」マークでそれらを働かせる場所と視点が明示されており、学習を深めるような工夫がされている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○「スキル・アップ」コーナーにおいて様々な資料の読み取りや、調査や分析の手法などの技能を生徒自らが身に付けられるように工夫されていて、社会的事象を読み解く能力を伸ばし、自主・自律を目指したつくりになっている。</p> <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <p>○学びを深めることができる「みんなでチャレンジ」のコーナーには協働的な活動の助けとなるような工夫があり、さらに、「個人活動」「グループ活動」などの学びの形の参考となるような記載もされている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○「スキル・アップ」コーナーを設けており、歴史地図・文献資料等のさまざまな資料の読み取りや調査の分析の手法が習得できるようになっている。</p> <p>○文化史にも十分な紙面が確保されていて、特設ページ「もっと知りたい！」では、現代に受け継がれている神話や琉球文化、アイヌ文化についても丁寧に学習できるようになっている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○本文、資料、年表スケールインデックスやQRコードなどを定位置に配置し、歴史全体の中での位置付けが把握しやすい構成となっている。</p> <p>○小学校で学習した人物のキャラクターを中心にした年表が導入のページにあるため、学習をする時代の見通しを立てやすくなっている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○単元を貫く学習課題、1時間ごとの学習課題、これらの学習課題を結びつけるための「探究のステップ」が単元ごとに設けられていて、生徒自身が学習課題の解決に主体的に取り組めるような工夫がみられる。現代社会の課題と向き合い、なぜ起こるのか、どのように解決できるのか、これからの社会の在り方を生徒が協力して考えるための土台となるような工夫がされている。</p>	

種目（ 歴 史 ）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>中学社会 歴史 未来をひらく</p>	<p>17</p> <hr/> <p>教出</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○全体のページ数や本文の記述量が充実しており、基礎的・基本的な事項の確実な習得を図ることができるように工夫されている。</p> <p>○「確認」「表現」のコーナーが1単位時間ごとに設けてあり、学習したことを整理しながらまとめることで、学習事項の確実な定着が図れるように工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○本時ページの「確認」「表現」や章末の「学習のまとめ表現」に、グループによる学習活動がバランスよく設置されている。教え合いや学び合いによる協働学習をもとに、多角的に理解したり考察を深めたりできるなどの工夫が図られている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○各章の通史学習において、導入の「学習のはじめに」で資料が大きく掲載され、生徒が自ら資料を読み取りながら、章の学習に対して見通しをもって進められるように工夫されている。</p> <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <p>○「学習課題」を受けて、資料の読み解きをしやすくするサポートや1時間の学習の最後に取り組める「問い」があることで生徒が自ら学び、自ら考える学習が展開できるようになっている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○写真・イラスト・地図・グラフ・図解などの資料が豊富で、出典と合わせて視覚的に捉えやすくなっている。</p> <p>○巻末にある年表が原始・古代から現代までの全時代を一覧できる両開きの折り込みページになっているので、時代の大きな流れや現代からの時間距離をつかみやすくなっている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○地名・人名などの固有名詞や社会科特有の用語には見開きごとにふりがながふられている。</p> <p>○側注には「用語解説」が掲載されており、生徒にとって適宜参照できるなど、学習しやすい工夫がみられる。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○学びを助ける三本の柱「LOOK!」「THINK!」「TRY!」がそれぞれ学習のはじめ、本時のページ、特設ページに掲載されていて、資料を活用しながら学習を深められるような工夫がみられる。また、本文とは視点を変えて学習内容を捉えなおすことができるため、歴史的事象について多面的・多角的な理解を図ることができるように配慮されている。</p>	

種目（ 歴 史 ）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>社会科 中学生の歴史</p>	<p>4 6</p> <hr/> <p>帝国</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○見開き1時間の紙面が、「導入」→「学習課題」→「本文」→「確認しよう」「説明しよう」の流れで構造化されており、基礎的・基本的な知識及び技能が確実に習得できるように工夫されている。</p> <p>○「技能をみがく」コーナーが14カ所設定されており、「歴史的な見方・考え方」を働かせる上で必要な技能を身に付けられる工夫がされている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○各章末に「学習を振り返ろう」が配置され、章の学習で得た知識・技能を生かして「歴史的な見方・考え方」を働かせつつ、単元を貫く問いに対して思考・判断・表現する課題が設けられている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○「アクティブ歴史」では、課題解決型の学習を通して、対話的な学習が多く設定されている。対話的な学習を通じて課題に粘り強く向き合い、様々な立場をふまえて合意形成を目指す態度を養えるように工夫されている。</p> <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <p>○単元を貫く「章の問い」、「節の問い」、各見開きの「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」、章末の「学習を振り返ろう」のように問いが構造化されているため、単元を通してそれぞれの問いを考えていくことで、課題解決的な学習ができるようになっている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○本文と資料の関連する箇所には、図・写真や他のページへの参照指示が記載されているため、効率よく資料の活用ができ、学習効果も高められるようになっている。</p> <p>○本文の内容を補足する写真や図表などが豊富にかつ大判で掲載されているので読み取りやすくなっている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○本文は、具体的に例示したり、歴史的事象の背景や因果関係までわかるようにしたりするなど丁寧かつ平易な表現になっている。</p> <p>○図版が色で囲まれているため、どこまでが同一の図版か読み取りやすくなるように工夫されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○「タイムトラベル」ではイラストからその時代の人々の生活の特色をつかむことができるようになっており、親しみをもって学習に取り組める効果的な導入資料になっている。また、世界とのつながりをつかむことができるイラストもあり、日本の様子と比較しながら歴史的な見方・考え方を身に付けられるように工夫されている。</p>	

種目（ 歴 史 ）

<p>書名 項目</p>	<p>中学歴史 日本と世界</p>	<p>81 山川</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○各単元が、学習課題、本文、ステップアップによる振り返り、という流れで統一され、基礎的・基本的な知識や技能を確実に身に付けることができる構造になっている。 ○グローバル化に対応し、時代の転換点や我が国の歴史に影響を与えた世界史の叙述が充実している。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○政治史のみならず、社会・経済史や文化史も充実した叙述になっており、多面的・多角的な考察ができるよう工夫されている。また、さまざまな立場を考慮した叙述があり、価値観の異なる立場の資料も充実している。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○発問によって、どこに注目すべきかの示唆も含まれていて、歴史への興味関心を呼ぶ工夫がある。また、調査の手順や順序、注意事項が記載されていることで、生徒が主体的に取り組むことができるように工夫されている。</p> <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫> ○歴史が変化する過程でおこる諸課題が、どのような時代を背景に生まれ、どのような影響を及ぼしたのかを考えさせるような発問が用意されているなど、生徒が必要感をもって課題追究・課題解決ができるように工夫されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○「地域からのアプローチ」では、地域を通じた系統的な歴史学習を通して文化財保護の取り組みを理解し、歴史を学ぶ意義について考えることができるようになっている。 ○各章の扉には各時代の帯年表があり、一目でその時代の日本と世界の大きな流れが捉えられるようになっている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○因果関係を重視した丁寧で詳しい説明がなされており、わかりやすい表現で記述されている。 ○高等学校での学習につながる概念も盛り込まれており、用語解説においても深い理解が図れるようになっている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○日本の歴史との関連や、現在の国際情勢との関連などが意識できるようになっている。豊富で多様な発問、因果関係を重視した詳しい記述、世界の歴史に関する充実した内容などがみられるため、高等学校の歴史学習との連携を図れるような工夫がされている。</p>	

種目（ 歴 史 ）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>中学社会 歴史的分野</p>	<p>116</p> <hr/> <p>日文</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○右ページの側注欄には「確認・表現コーナー」が設けられており、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着をねらいとした学習活動ができるように工夫されている。</p> <p>○自分の考えを説明するような問いが提示されていて、習得した知識及び技能を用いて生徒が自らの力で文章化・言語化できるように工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○「トライ」、「スキルUP」、「資料活用コーナー」、「チャレンジ歴史」など、毎時間、生徒一人一人が、思考力・判断力・表現力を育成する場面が設けられている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○導入のページ「学習のはじめに」では、活動を通して単元を貫く問いを立てたり、学習を見通したりすることができるように工夫されている。また、「イントロダクションムービー」があり、生徒の興味・関心を高めるだけでなく、学習の内容を概観できるようになっている。</p> <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <p>○時代の前後を比較できる資料などを読み取る活動である「トライ」が設定されていることで、生徒が何を学ぶかをとらえやすくなっており、課題解決に向けた活動を補助している。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○図版は本文との関連が明確で、時代の様子を具体的にイメージできる資料を豊富に掲載している。</p> <p>○QRコードを読み取れば「ポートフォリオ」がダウンロードできるようになっている。これを活用することで生徒の学習成果や学習履歴を把握することができるだけでなく、教師の授業改善につなげられるようになっている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○ふりがなは、大きめのゴシック体を使用されており、かつユニバーサルデザインフォントを使用し、文字の視認性が高められ、内容を認識しやすい表記となっている。</p> <p>○時代のスケールがあることで、学習している時代を把握しやすくなっている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○単元の学習を見通す導入のページ、単元を意識し、問いに迫る本文のページ、自分の言葉でまとめ、単元を振り返るまとめ・振り返りのページのように知識・技能を習得しながら思考力・表現力等を身に付けられるような構成になっているため、生徒が学習に取り組みやすいだけでなく、教師も授業を組み立てやすく工夫されている。</p>	

種目（ 歴 史 ）

<p>書名 項目</p>	<p>新しい歴史教科書</p>	<p>225 自由社</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○1時間ごとの単元の最後に掲載されている「チャレンジ」では、その単元で身に付けたい基礎的な知識や技能が確認できるようになっている。 ○章の最後には復習問題のページ「確認してみよう」のコーナーがあり、基本的な用語の確認や地図問題で知識の定着が図れるようになっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○章のまとめでは、「対話とまとめ図ページ」が設定されており、学習した内容が年表（まとめ図）でまとめられている。それを見ながらキャラクターが事象の相互関係等に注目して話すことで、事象に対して歴史的な見方・考え方を働かせて思考力・判断力・表現力を養う工夫がされている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「もっと知りたいコラム」や「外の目から見た日本」が豊富に掲載されており、歴史的な事象を多面的・多角的にとらえることができるとともに、生徒の興味・関心を引き付けるような内容になっている。</p> <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫> ○見開き1時間で課題提示→課題解決に向けた資料の配置、「チャレンジ」による課題解決に向けた補助が分かりやすく構造化されていて、探究活動に適したつくりになっている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○写真、地図、系図などの資料が豊富、かつ大きく示されているのでとても見やすくなっている。特に古代の天皇家に関する系図はイラストを活用するなどの工夫がみられる。 ○見開きページの中で資料が大きく掲載されていて、読み取り活動などに活用しやすくなっている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○タイトルには単元の数字が通し番号で表記されているため、歴史分野全体を意識して学習を進めることができるようになっている。 ○文字は視認性が高く、重要語句は太字になり、生徒は要点や重要項目が一目でわかるように工夫されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○資料が豊富、かつ大きく示されていて見やすい作りとなっている。また、章末にある「復習問題のページ」「時代の特徴を考えるページ」「対話とまとめ図のページ」で、それぞれ知識の定着、思考・表現をする活動、年表を中心としたまとめ図を活用し、次の時代の姿を想像しながら主体的に学習に向かう力を育成することができるような工夫がみられる。</p>	

種目（ 歴 史 ）

<p>書名 項目</p>	<p>新しい日本の歴史</p>	<p>227 育鵬社</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○伝統や文化の学習を重視しつつ、各時代を大観し、前の時代とも比較しながら我が国の歴史の大きな流れを世界の歴史を背景に理解できる構成になっている。 ○「歴史ビュー」では、歴史に係る出来事の意味や伝統文化などについて、多面的な視点から解説されており、学習内容の知識の習得につなげている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「地域の歴史を調べてみよう」では、地域に残る文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察できるように工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善がしやすいように、「確認」「探求」「見方・考え方」「資料活用」「TRY!」といった豊富な言語活動が設けられている。また、歴史上の人物について、「人物クローズアップ」でその業績を紹介し、その生き方や人間的魅力なども学習できる。</p> <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫> ○「つかむ→調べる→まとめる・表現する」という流れで問題解決型の学習を促す「学びのナビゲーション」が本文で表現されていて、生徒が主体的に課題解決に向けた活動に取り組めるようになっている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○ICTを活用して、学習を促すQRコードが掲載されており、学習内容に関連する動画を閲覧したり、情報収集をしたりすることができるようになっている。 ○日本の伝統と文化を豊富に取り上げており、文化遺産の魅力などが生徒にダイナミックに伝わるようになっている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○図版、イラスト、写真等の資料類の多くに実寸が併記されており、本文の記述と関連付けて的確に示されている。特に「日本の美の形」「歴史絵巻」のページは、視覚的にも興味をもって取り組めるように工夫されている。 ○教育外漢字や固有名詞等に適宜ふりがなが振られ、難解な歴史用語には補足をつけるなどの配慮がなされている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○本教科書は生徒の系統的な学習を生かしつつ、社会的事象を歴史的な見方・考え方を踏まえて多面的・多角的に考察したり、説明したりする力を養うための言語活動を意識した構成となっている。生徒が社会的事象を「自分事」として捉え、主体的な判断、行動につなげることができるよう工夫されている。</p>	

種目（ 歴 史 ）

<p>書名 項目</p>	<p>国史教科書</p>	<p>236 令書</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○章の終わりには年表が掲載されており、特にポイントとなる歴史的事象にあたる重要語句が空欄になっているなど知識の定着が図れるようになっている。 ○「序・国史を学ぶにあたって」では、歴史学習を学ぶために必要な概念を丁寧に解説しており、知識及び技能の習得がしやすくなっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「考えよう」では、問いやヒントを提示することにより、生徒が資料を比較したり、生徒間で対話したりするなど、社会的事象について考察を深めやすくなるようになっている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○生徒の興味・関心を引くようなコラムが多数掲載されており、様々な出来事、我が国の偉人からよりよく生きるためのヒントをもらえるような構成となっている。</p> <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫> ○本文に必ず「課題」が提示されており、資料や本文を基に必要感をもって課題解決型の学習を進められるようになっている。 ○まとめのページが設けられ、大きな時代区分ごとに要点を整理することができるのと同時に、そこから更に探究できる問いが設定されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○本文に書かれている内容を裏付けるような文献資料が1単位時間ごとに掲載されており、資料の内容と照らし合わせながら学習を進められるようになっている。 ○巻末にある「日本美術図鑑」には、多くの美術作品が大きく掲載され、細かな解説がついているため、資料が充実されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○縦書きで表記されており、物語を読むような感覚で歴史学習に臨むことができるように工夫がされている。 ○巻末に資料がまとまっているため、ページの構成がすっきりしており、本文の内容に集中できるような表記になっている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○巻末にある「日本美術図鑑」は資料集に匹敵するほどの様々な美術作品が掲載されていて、生徒の興味・関心を高める工夫がされている。また、非常に多くの歴史的な用語や資料が掲載されており、側注の用語解説においても深い理解が図れるようになっているため、高等学校での学習につながるよう配慮されている。</p>	

種目（ 公 民 ）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>新編 新しい社会 公民</p>	<p>2</p> <hr/> <p>東書</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○「もっと解説」や単元のまとめに設けられている「ワードチェック」「社会科学用語マスター」などで、知識や重要用語の確認ができるようになっている。</p> <p>○「スキル・アップ」では、資料やグラフの読み取り方など、学習に必要な技能を確実に定着できるようにしている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○各単元の学習の冒頭で「見方・考え方」を明示するとともに、学習の過程にも「見方・考え方」を働かせるコーナーを設けることで、学習を深められるように工夫されている。</p> <p>○「みんなでチャレンジ」コーナーでは、対話的な活動を効果的に実践できるようにになっている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○導入ページで生徒の学習意欲を喚起させるような内容を提示するとともに、学びの見通しをもたせる工夫がされている。</p> <p>○我が国の特色ある伝統や文化に関する教材や、文化の継承に取り組む中学生の姿を豊富に取り上げ、伝統や文化の継承者としての資質や能力を養えるよう工夫されている。</p> <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <p>○各章の学習が、①単元全体を貫く「探究課題」を立てる「導入の活動」→②1単位時間ごとの「学習課題」を解決しながら進める「問いの研究」→③「探究課題」を解決する「まとめの活動」の形で問いを軸にして単元を構造化し、課題解決的な学習が進めやすいよう工夫されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○本文を補完する学習効果の高い資料を大きく掲載し、資料に付した「図番号」が本文にも付されており、効果的に学習を行える工夫をしている。</p> <p>○漫画やイラストなどの各種資料や、動画などのQRコンテンツが充実しており、生徒が興味・関心をもって学習を進められるようになっている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○フラットデザインを採用するとともに、ユニバーサルデザインフォントが使用されているため文字の視認性が高められている。</p> <p>○視覚的効果が高い幅広の判型を用い、写真や文字が鮮明であり、見やすく印象的な構成となっている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○課題解決型の学習が展開しやすいように、導入、展開、まとめの流れが明確になっている。</p> <p>○さまざまなQRコンテンツが充実しており、個別最適な学びにつながる。さらに、「18歳のステップ」では主権者意識を高め、一人一人の公民的な資質・能力を育てる工夫がなされている。</p>	

種目（ 公 民 ）

<p>書名 項目</p>	<p>中学社会 公民 とともに生きる</p>	<p>17 教出</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○本時のページの最後に、学習したことを整理しながらまとめる活動「確認」のコーナーが設けられ、学習事項の定着が図られるようにしている。 ○「公民の技」コーナーで個人やグループでの活動を通して、公民の学習で身に付けたい技能や表現力を養えるように配慮されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○本時ページの最後に、「表現」のコーナーが設けられ、学習事項の定着と活用が図られるように工夫されている。 ○「THINK」や「Q」のコーナーが適宜設けられ、地図・グラフ・絵・図解などの資料を読み取って考察する学習活動が重視されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○公民的分野の最後のまとめ学習として、持続可能性を妨げる今日的な課題とその解決について、SDGs達成の観点から探究し、自分との関わりから提言をする活動がまとめとして取り入れられている。 ○「JUMP!未来のためにできること」コーナーでは、現代社会の今日的な課題について意見を述べる活動が設定されている。</p> <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫> ○見通し・振り返りの学習活動に取り組みやすい単元構成となっている。見方・考え方がそれぞれの導入ページで紹介されており、生徒が見方・考え方を働かせて考える助けとなっている。各章のまとめと表現のページでは、活動を振り返り、まとめ、章全体の問いについて考えられるようになっている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○巻頭や巻末・とびらのページを有効に活用したレイアウトにより、学習効果が高まるように構成されている。 ○各資料には、指示しやすいように通し番号を付けるとともに、本文中にも資料番号が挿入されており、資料との関連がわかるように工夫されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○地名・人名などの固有名詞や社会科特有の用語などには、見開きごとにふりがなを付けるとともに、主要な文字には教育的配慮を施した書体を用いている。 ○すべての生徒にとって見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○見方・考え方を働かせ、単元を通して見通しと振り返りを意識した単元構成になっている。 ○生徒が社会への関心を高め、自ら行動していこうとする態度を養うページが充実している。公民・地理・歴史と3分野間の関連箇所が示されていることで、深い総合的な理解へと導く構成である。</p>	

種目（ 公 民 ）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>社会科 中学生の公民</p>	<p>4 6</p> <hr/> <p>帝国</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○見開き1時間の紙面が、「導入」→「学習課題」→「本文」→「確認しよう」「説明しよう」の展開で構造化され、基礎的・基本的な知識及び技能が確実に習得できるようになっている。</p> <p>○「技能をみがく」コーナーが6カ所設けられており、学習に必要な知識・技能が習得できるように配慮されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○各章末に「学習を振り返ろう」が設置され、章の学習で得た知識を生かして、「社会的な見方・考え方」を働かせつつ、単元を貫く問いに対して思考・判断・表現する課題が設けられている。</p> <p>○現代社会で議論されているテーマの賛否を示す「Yes No」のコーナーが4カ所設けられ、生徒が自分の考えを整理できるようになっている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○実社会に興味をもたせるイラストや事例が紹介され、生徒が実感をもって学習できる導入が工夫されている。</p> <p>○部・章の導入として、学習内容を見通すことができるイラスト「学習の前に」が設けられており、興味関心を高められるよう工夫されている。</p> <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <p>○単元を貫く「章の問い」、「節の問い」、各見開きの「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」、節末の「節の問いを振り返ろう」と章末の「学習を振り返ろう」というように問いが構造化され、課題解決的な学習ができる構成となっている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○導入見開きのイラストは生徒が単元の学習に興味・関心をもつような内容になっている。また、幅広の判型で、写真やグラフ、表などが大きく見やすく提示されている。</p> <p>○QRコンテンツに用語解説が用意されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○ユニバーサルデザインフォントが使用されるとともに、カラーユニバーサルデザインにも配慮されている。</p> <p>○図版が色で囲まれ、どこまでが同一の図版か読み取りやすいように配置されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」につながる構成として、「導入→学習課題→本文→確認しよう・説明しよう」という展開で統一し、見通しと振り返りがしやすい構成となっている。</p> <p>○生徒が「自分ごと」として社会と関わることができるような資料や内容構成となっている。</p>	

種目（ 公 民 ）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>中学社会 公民的分野</p>	<p>116</p> <hr/> <p>日文</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○学習課題の解決に向けての手掛かりとなる主な「見方・考え方」の例が示されている。</p> <p>○資料活用コーナーや情報スキルアップによって、資料活用の技能を高めたり、情報リテラシーや社会的事象等について調べ・まとめる技能を身に付けたりできるよう工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○アクティビティ、チャレンジ公民では、習得した知識を使い、見方・考え方を働かせながら考察する問いが設定されている。</p> <p>○考察したことや選択・判断したことを説明したり立場や根拠を明確にして議論したりするなどの言語活動に関わる学習の充実が図られている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○導入ページの「学習のはじめ」には、単元を貫く問いを立てたり、学習を見通したりすることができる工夫がされている。</p> <p>○地理・歴史・他教科・高校の公共とのつながりが示され、生徒が教科等横断的な視点から見通しをもって学習を進められようになっている。</p> <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <p>○単元を貫く問い（章の問い、節の問い）が構造的に設定され、まとめと振り返りページでは、学習したことをまとめ・振り返り、QRコンテンツでポートフォリオを蓄積することができるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができる工夫がなされている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○最新のトピックスや現代的な諸課題、抽象的な事象を具体化するイラストなどの資料が豊富に掲載されている。</p> <p>○QRコンテンツには、スライドショーでわかりやすく図解がされていたり、動画教材が充実していたりする。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○カラーユニバーサルデザインに配慮されているとともに、ユニバーサルデザインフォントが使用され、視認性が高く、主要語句は太字になっている。</p> <p>○全体的に平易な文章表記であり、抽象的・網羅的な記述を避け、具体的に記述されているため、生徒が内容を把握しやすい工夫がなされている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○全体として、生徒の学習を手助けしたり、さらに深めたりするコンテンツが充実している。</p> <p>○問いを立て学習の見通しをもつ場面や、単元の学習を振り返りまとめる場面が、具体的に設定されているため、課題解決的な学習につながる構成となっている。</p>	

種目（ 公 民 ）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>新しい公民教科書</p>	<p>225</p> <hr/> <p>自由社</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○注釈が多く、詳しく書かれている。「ミニ知識」で、生徒の興味を引くような知識について説明されている。</p> <p>○「ここがポイント！」を単元の最後に配置し、授業の要点を示し、「アクティブに深めよう」で考察することで学習を深められるようにしている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○各見開きにその授業の学習課題が提示されている。学習のまとめと発展で、単元で学習したことをさらに深める問いが設定されている。</p> <p>○「学習の発展」が設定され、章で学んだ事柄を踏まえて、自分の言葉で表現する学習活動が行われるよう工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○「もっと知りたい」で、生徒が興味を引くようなトピックについて取り上げ、生徒がさらに興味があることを学習できるようになっている。</p> <p>○「アクティブに深めよう」で、様々な課題に対して、同じ章で学んだ既習事項を生かし、話し合い活動等を行うなど協働的な学びができるように工夫されている。</p> <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <p>○章ごとのまとめのページでは、単元に関わる課題とそれを解決するための方策が示され、生徒が活動しやすくなっている。また、「やってみよう」のコーナーでは、提示資料を踏まえて、課題の解決策を考えたり、話し合ったりするように工夫がなされている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○現代社会のことを歴史的な視点で捉えた資料や発展的な内容に関する資料が充実している。</p> <p>○資料の表示が大きく、しかも生徒が認識しやすい補助的な文言も提示され、視認性が高められている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○すべての生徒が見やすいように、大きなフォントが使用され、重要語句がゴシック体で書かれている。</p> <p>○単元で色が統一されているため、何の学習をしているのかについて、生徒自身が項目ごとに区分けできるようになっている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○全体的に、生徒に身に付けさせたい知識がわかりやすくまとめられているため、内容を認識しやすくなっている。</p> <p>○「もっと知りたい」など、意図的・系統的に設定されているため、生徒がより学習を深めることができるとともに、公民的な考え方ができるよう資料も充実している。</p>	

種目（ 公 民 ）

<p>書名 項目</p>	<p>新しいみんなの公民</p>	<p>227 育鵬社</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○見開き右ページ下に、確認しようのコーナーが設定されており、学習した知識の定着を図れるように工夫されている。 ○学習のまとめでは、重要語句や必要な技能の確認ができるようになっている。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○国や地域の抱える課題・問題を多面的・多角的に捉えるための教材が豊富に用意され、学習内容と生徒の生活や社会とのつながりが感じられるようになっている。 ○身近な出来事や自分の生活に影響がある事象を取り上げ、その見方・考え方が明確に示されている。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○導入ページでは、なぜ学ぶのかということに着目した記述や、生徒が興味関心をもてる事例が掲載されている。 ○現代社会を捉える見方や考え方の基礎となる「対立と合意」「効率と公正」について紹介されており、具体的事例を学ぶことができる。 <課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫> ○「学びのナビゲーション」によって、課題をつかむ、調べる、まとめる・表現するといった課題解決型の学習の流れがわかるよう提示されている。また、学びのテーマ、学び方の方法や手段、まとめ方などが明示され、生徒自身が主体的に学ぶことができるよう工夫されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○図版、イラスト、写真等が、生徒が視覚的にも興味を持って取り組めるよう工夫されている。 ○巻末の「学習資料」には、憲法・法律・条約が掲載されており、学習に役立てることができる。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○フォント・文字の大きさ、紙面の色づかいなど配慮された表記となっている。また、難解な法律用語等には補足をつける等の配慮がなされている。 ○概念的な内容を学習する単元では、生徒の理解を補完するために、イラストで表現するなどの工夫がある。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○グローバルな視点から日本と現代社会を語れる教科書というコンセプトのもと、社会とつながる教材が豊富に掲載されている。 ○様々な社会の課題について、生徒が深く考えられる活動が位置付けられており、社会の形成者として積極的に社会参画できる資質・能力を育てる工夫がなされている。</p>	

種目（地図）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>新編 新しい社会 地図</p>	<p>2</p> <hr/> <p>東書</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○地域を概観するのに役立つ主題図を世界の各州・日本の各地方に、共通して掲載しており、基礎的・基本的な知識を習得しやすくなっている。</p> <p>○日本の一般図では、全ての市町村名や主要な自然地名が掲載されており、さらに「さくいん」では全国の市町村名を探せるようになっているなど、学習に取り組みやすい工夫がみられる。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○地理的分野の探究課題に沿って学習する際に活用できる資料があり、教科書との整合性も図りやすく、学習の効果を高めるための工夫がみられる。</p> <p>○「Bee's eye」の問いが豊富で、取り組むことで、資料を読み取る力や活用する力を高めたり、社会の在り方や自分の行動について考察したりすることができるように工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○独自のキャラクターを使うなど、生徒の興味・関心を高めるための工夫が見られる。また、キャラクターの吹き出しにポイントや考察の視点が示されており、学習の手がかりがつかめるように配慮されている。</p> <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <p>○「Bee's eye」で社会の課題にどう取り組むべきかを問う質問を設けるなど、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようになっている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○日本の統計では、人口構成割合や産業別割合などが帯グラフ化されており、視覚的に特色を捉えられるように工夫されている。</p> <p>○教科書の本文や資料を補完したり、より深めたりするための資料が豊富に掲載されており、多角的・多面的な考察ができるように配慮されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○地理だけでなく歴史や公民の学習にも活用できる資料が豊富に掲載されている。</p> <p>○日本の一般図の縮尺が統一されているため、距離や面積を比較しやすくなっている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○同社の教科書の本文を補完する資料や異なる表現方法の資料が掲載されているため、併用して使用すると、より学習が深まり、地理的な見方や考え方を定着させる工夫がみられる。また、生徒の興味・関心を高められるような工夫も随所に見られる。SDGsなど身近にせまった課題に対しても詳しい掲載があり、より良い社会の形成者としての態度を育めるような工夫がみられる。</p>	

種目（地 図）

<p>書名 項目</p>	<p>中学校社会科地図</p>	<p>4 6 帝国</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○問い「地図で発見！」が数多く掲載されており、地図の読み取り方などの基本的な技能が身に付けられるようになっている。 ○実際の地形図を使って、作業をしながら地形図の見方や活用の仕方が身に付けられるような工夫がみられる。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○問い「地図で発見！」は、「社会的な見方・考え方」を働かせる視点に基づいて作成されているため、思考力・判断力・表現力の育成につながるよう構成されている。 ○世界地図には、世界の国々と日本の大きさ比べや、緯度や経度による位置関係を比較できるように同緯度、同縮尺の日本地図が掲載されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○世界の各州には、自然環境や生活・文化、産業などのイラストを多用した鳥瞰図があり、生徒の興味・関心を高められたり、行事等で活用できる資料も掲載されたりしており、主体的に地図帳を活用できる工夫がみられる。</p> <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫> ○問い「地図で発見！」が156問も掲載されており、地図の読み取りなど地理的スキルが身に付くだけでなく、社会的な見方や考え方を育成することができるように工夫されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○県別の統計資料には地方別合計欄が設けられており、地方同士の比較が容易に説明できるようになっている。 ○環境問題や脱炭素への動きなどの資料をはじめ、世界と日本の諸課題について考えられるような主題図などの資料が多く掲載されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○資料図は、比較を通して地域の特色が考察できるように、自然や人口などの主要素については縮尺が統一されていて学習しやすくなっている。 ○地名の漢字にはふりがなが、重要な国名や首都名については英語での表記もあるため、国際化への対応がなされている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○地域を大観するための地図が豊富で、世界、日本の自然環境や文化、人々の生活の様子など基礎的・基本的な内容を広い視野に立って捉えられるようになっている。また、地理的分野だけでなく、歴史的分野、公民的分野に関わる地図や写真なども多く掲載されているので、幅広い活用が可能であるとともに生徒が主体的に学習に取り組めるような工夫がみられる。</p>	

種目（ 数 学 ）

<p>書名 項目</p>	<p>新編 新しい数学 ～MATH CONNECT 数学のつながり～</p>	<p>2 東書</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○授業時数配当外で生徒自らが習熟度に応じて取り組む問題が多数用意されている。 ○必ず解けるようになるべき問題に「♡」マークをつけ、内容の理解を確実にしてから次の問題に取り組めるスモールステップの編成になっている。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「深い学びのページ」は、ほぼ全ての章に設けられ、生徒が見方・考え方を働かせた数学的活動に取り組めるようになっている。生徒の思考を妨げないように、全て右ページ始まりとし、自力解決の際に考えの例が見えないように工夫されている。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○随所にイラストを取り入れながら「学びをふり返ろう」を設け、学習のなかで働かせた考えを生徒自らふり返ることができるように工夫している。各章のとびらや節の導入で日常生活や社会の問題、数学の新しい性質を見いだせるように工夫し、生徒が疑問に感じる場면을提示している。 <数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫> ○「章とびら」では、生徒の関心・意欲を高められる日常生活の場면을提示し、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。また、問題発見・解決の過程を重視した「深い学び」を設定し、数学的な見方・考え方を働かせ新しい性質を見いだすなどの数学的活動に取り組めるようになっている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○動画やフラッシュカードなどQRコンテンツが豊富で個別最適な学びを意識した資料となっている。 ○持続可能な社会実現のため、SDGsに関連した題材を扱っている。 ○吹き出しに「それなら」や「同じように考えると」などの見出しをつけることで新たな学びとのつながりや既習事項とのつながりを示唆している。また、算数も同様の吹き出しになっており9年間で統一されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○「まちがい例」は、誤りであることが明確にわかるように、「まちがい例」と明記してある。 ○本文や「例」は、「だ・である」調を用い、「問」など生徒が取り組む問題は、「です・ます」調を用いている。 ○文節改行を取り入れ、小さい文字にはUDフォントを採用している。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○1人1台端末の活用に向け、授業や自学自習などで使用できるQRコードから利用できるデジタルコンテンツ(ワークシートや補充問題、動画、シミュレーションなど)が豊富にある。 ○各問にチェックボックスを設け、習熟すべき問題に「♡」マークをつけることで、生徒が自ら学習進度を確認できるよう工夫されている。 ○章のタイトルを学習で身に付けたい資質・能力を文章化して表記している。</p>	

種目（ 数 学 ）

<p>書名 項目</p>	<p>数学の世界</p>	<p>4 大日本</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○解決に向けたステップを統一し、取組の方向性がはっきりしていてわかりやすい。 ○例題ではなく活動（話し合いや考えの提示）の場면을意図的に設定し、主体的・対話的な学習から、協働的な学びを実現しようとしている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○各章の「活動」において、調べたり説明したりする場面、他の人の考えを読み取る活動が設けられ、表現力を伸ばす工夫がされている。巻頭の「ノートづくり」では、ノートづくりを通して数学的な思考や表現ができるよう、例とともにノート指導のポイントが示されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○各章に「〇〇の利用」の課題を設定し、問題を解決した後に、過程をふり返ったり、評価したりする問いを設けている。身近なものを課題の題材として取り上げ、数学の有用性を高めたり学習意欲を高めたりするように工夫している。</p> <p><数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫> ○各章の「活動」では、これまでの学習を生かし予想や調べることの数学的活動を通して、新たな概念や方法を主体的・対話的に学習できるようになっている。また、「利用」の課題では、問題発見の場面から、解決の見通しをもち、論理的に考える資質・能力を育成する工夫がある。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○学習理解のために写真や図、イラストなどを効果的に用いている。 ○活用・探究のページでは、教科横断的な題材が使われている。 ○「MATHFUL」のページでは、生活に生かされているものや、楽しく豊かな数学の世界を知れる内容を扱い、数学への興味関心を高めている。 ○実際に仕事として数学に触れている方へのインタビューを使い、数学的な思考や活動の有用感を高めている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○重要な語句は途中で改行することのないよう文節改行をしている。 ○1年では使用する文字を大きくし、説明文章を「ですます」調で表現している。 ○問い番号などは、生徒がノートに書きやすいデザインになっている。 ○右ページ外側に節ごとのインデックスと領域ごとに色分けがされている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○細かく小節(項)を設定し、項ごとに学習のめあてが「めあて」として示されている。項ごとに、配当時数を□で示している。例、例題にタイトルをつけ、扱う内容を表記している。 ○使用する文字の大きさを1年と2, 3年で変え、文章表現を「ですます」調にすることで算数から数学へのギャップに配慮した工夫がされている。 ○学習を広げる問題、数学の世界をさらに広げる問題や読み物を設けている。</p>	

種目（ 数 学 ）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>中学校 数学</p>	<p>1 1</p> <hr/> <p>学図</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ノートの作り方を取り上げ、ノート作りが定着するとともに、自学自習ができるつくりになっている。 ○QRコードからリンクページを示し、授業中でも個人差に対応した問題に取り組むことができる。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○章末の「深めよう」では、数学を活用して考えたり判断したりする課題を通して、思考力・判断力を高めるように構成されている。本文中の「説明する力をつけよう」では、対話を通して考え、簡潔・明瞭・的確に表現する力を高められるように工夫されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒自身の疑問をもとに、解き方を振り返ったり、他者への説明のしかたや対話を通してより簡潔・的確に表現したりするなど従前の方法を評価・改善できるようにしている。各章に「活用」を設定し、活用問題を取り上げることで日常生活や環境に感化する課題解決に活かせるように工夫している。 <p><数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習過程のイメージを実現できるように、日常生活の事象から生徒自身が問題を発見し、予想をたて解決をする数学的活動を全ての章で取り扱っている。「数学的活動のページ」では、生徒同士の対話を中心に置き、問題解決に向けた話し合い活動が進められるよう工夫されている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○活動の興味関心を高めるため、数学的な概念をイメージ化しやすい図、写真等を取り入れている。 ○活用等の場面ではSDGsとの関連についてマークで記されている。また、職業的なつながりも紹介されている。 ○イラストの対話を多く取り入れ、生徒たちの実際の思考の流れが表現されている。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の発達段階を考慮しつつ、正確に理解できるよう記述してある。 ○本文や説明文は「である」調、導入の問題は、「～みましょう」と丁寧な言葉遣いをし、問いや例は、「ですます」調になっている。 ○新出の用語にはルビをつけてある。 ○右ページの外側に各章のインデックスが2色交互にあり、節の表記もある。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各章のとびらで、生徒のキャラクターが身近な問題から疑問をもち課題を見付け、「Q」で数学の問題に置き換え、キャラクターの対話から学習の目標を設定し学習を進める構成となっている。 ○章末の「できるようになったこと」を示し、自己評価できるようになっている。また、「さらに学んでみたいこと」を自分の言葉で記入できるようにし、学習したことを広げ、さらに学びの意欲を持たせる工夫がされている。 	

種目（ 数 学 ）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>中学数学</p>	<p>17</p> <hr/> <p>教出</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○例と問の間に「たしかめ」を設定し、基礎基本をスモールステップで自己解決できるように工夫がされている。</p> <p>○デジタル教材を活用することで、紙媒体では実現が難しい動的な表現や立体的な表現により、学習内容の理解を助けるつくりになっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○問題発見・解決の過程を「学習過程で生じる生徒の疑問→学習して分かったこと、解決のしかた→新たな疑問」のサイクルで示すことで、思考力・判断力・表現力の育成を図れるようにしている。ノート例や学習者用端末の活用例を示し表現力を高められるようにしている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○イラストや吹き出しを用いて学習過程で生じる生徒の疑問を取り上げ、解決の仕方を見いだすことで学習したことのよさを振り返る構成にしている。各章のとびらを設け、実社会や日常生活など数学に関わる話題を取り上げて数学を学ぶ必要性を実感し、学習意欲を高められるように工夫している。</p> <p><数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫></p> <p>○学習の展開として、学習過程で生じる生徒の疑問から主体的・対話的な学びを通して、生徒がわかったことや解決のしかたを見だし、さらに新たな疑問へつなげる数学的活動のサイクルとなっており、自ら問いをもって学び合いながら考えを深める構成となっている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○生徒が理解しやすいように、挿絵や写真を多くの場面で使用している。</p> <p>○汎用的な統計ツール「SGRAPA」にまなびリンクから直接アクセスすることができる。</p> <p>○章のとびらで扱った内容を、章末の「章の問題」や「数学の広場」、「数学しごと人」で取り上げ、章の学習を通して学んだことから、数学的な理解の深まりや思考の高まりを感じることができるつくりになっている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○文節で改行するなど、読みやすくわかりやすい配慮がされている。</p> <p>○当該学年までの漢字を扱い、ふりがなを多めにつけてある。</p> <p>○1年については、問いの文末表現を小学校式の「～しましょう」とし、算数から数学に変わった抵抗感を抑えるようにしてある。</p> <p>○右ページの外側に各章のインデックスが2色交互にあり、節の表記もある。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○各章の始まりの「学習する前に」では、関連する既習事項を確認するページがある。章末には、章の問題の前に「学習のまとめ」のページをとり、学習した基本的な内容を確認できる。</p> <p>○各章のとびらには、学習する内容に関連する実社会や身のまわりにある数学を意識させる写真を掲載し、数学の有用性やよさを感じさせる工夫がされている。</p>	

種目（ 数 学 ）

<p>書名 項目</p>	<p>未来へひろがる数学</p>	<p>6 1 啓林館</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○QRコンテンツで補充問題を充実させ、各問と同程度の難易度の問題にさら に取り組むことができる。 ○例題ではノート形式で途中式を省略せずに記載しており、生徒がノートを書 くときの参考にできる。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○学習の中で働かせた数学的な見方・考え方を「たいせつな考え方」の標識と して示している。「説明しよう」では、自分の考えを整理し、まとめて伝え たり、他者と自分の考えを比較して考えたりする場面を設け、思考力・判断 力・表現力が高まるように工夫されている。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○利用の単元で「ステップ方式」の課題を取り入れ、問題発見・解決の過程を 意識しやすくし、振り返りや発展的に考えられるように工夫している。各章 の節に「学習のとびら」を取り入れ、QRコンテンツや言語活動のコーナー を用いて、興味・関心をもって学習に向かえるように工夫している。 <数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫> ○数学的活動を通して主体的に学習を進められるように、日常の事象や既習内 容をもとにした導入課題を設定するとともに、学習の目標を明示している。 利用場面では「ステップ方式」から数学的な問題発見・解決の過程を具体的 に示し、数学的に考える資質・能力の育成を図っている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○個別最適な学習のために、例や例題でQRコンテンツから解説動画が準備さ れている。 ○本編の各章にインデックスをつけ、節の記載もあり、ページを検索しやすい ようにしている。 ○数学が使われている場面を学習内容と関連させて写真で紹介し、生徒の学習 理解を深められるように配慮されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○全学年で文末表現を生徒の心情を考慮して「ですます調」でやさしい表現 にしている。 ○カラーユニバーサルデザインの観点から、見分けることが困難な配色は避け て見やすい色使いになっている。 ○単語の途中での改行を避けて、意味や文節による改行をしている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○すべての節のはじめに、身のまわりの問題などを取り上げた導入課題を設定 し、学ぶ意欲を喚起するように工夫されている。また、すべての節の導入課 題にQRコンテンツを配置し、場面理解や数学的活動を促すとともに、1人 1台端末の活用や自学の際にも活用できる構成となっている。 ○各章の利用の節では「ステップ方式」を取り入れ、問題発見・解決の過程に 従って取り組むことで、問題発見・解決の過程を意識化させている。</p>	

種目（ 数 学 ）

<p>書名 項目</p>	<p>これからの 数学</p>	<p>104 数研</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○章の学習に入る前に、関連する既習事項の確認ができるようになっており、欄外にはQRコンテンツの補充問題がある。 ○複数のアプローチがある問題について、省略せずに比較できる編成になっている。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○巻頭にはノートのつくり方、学習の進め方がわかるガイダンスのページが充実している。全体を通して、対話的な学びを前提とした構成となっており、見いだした事柄を説明する問いかげや方法や理由を説明する問いかげ、学んだことを統合する場面が各所に設けてある。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○章末に対話型の活用問題を多く設定し、自身の考えを説明したり、対話の内容から自分の考えをふり返ったりすることができるように工夫されている。導入では写真を多く用いて学びたくなるような話題や課題を設定し、数学の必要性を実感できるように工夫されている。 <数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫> ○生徒にとって身近な問題を取り上げ、キャラクターをガイド役として対話的に問題を解決する場面や、多様な考え方を提示し生徒自身の考え方を認める場面があり、数学的活動の楽しさから、主体的に学んだ数学を活用して考える資質・能力を育成することができるようになっている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○日常生活や将来の社会生活に役に立つような資料を扱い、特に写真を多く配置している。 ○章末の「学んだことを活用しよう」では、「探究」のコンテンツを利用することで、問題解決力を高める課題に取り組むことができる。 ○教科書データが入っている、プリント作成ソフトが付属しており、授業で活用できる。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○数学の正確さを維持し、発達段階に考慮した平易な表現となっている。 ○ユニバーサルデザインの視点で編集されている。 ○作図など教科書に書き込むものは紙面の外側に配置されている。 ○生徒の興味につながる図や写真を効果的に見せることで、内容をイメージできるようにしている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○1年は、問題のすべての文末表現を「～しましょう」としている。 ○各章のはじまり、項目のはじめには、「Q」や「TRY」で先生や生徒のキャラクターの対話形式を取り入れ、キャラクターの対話をきっかけに、多様な考え方や気付きを促し、深い学びにつながられるよう工夫されている。 ○後ろ見返しに「学びの自己評価」を設け、学習者の自律的な学びや協働的な学びを意識化させている。</p>	

種目（ 数 学 ）

<p>書名 項目</p>	<p>中学数学</p>	<p>1 1 6 日文</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○全国学力・学習状況調査をもとに、苦手克服の観点で問題の設定がされている。 ○各章の前に、既習事項を復習する機会を設けることで、つまづきを未然に防ぐことのできるつくりになっている。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○横欄には、「大切な見方・考え方」が具体的に示され、常に意識して取り組めるように工夫されている。吹き出しやノート形式の枠を使った「表現の例」などの簡潔・明瞭な表現の具体例が示され、数学的な表現を用いて説明する基礎的な力を身に付けるための工夫がされている。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○各章に「学びに向かう力を育てよう」を設け、巻末にワークシートをつけるなど生徒の学習活動のふり返りや自らの学習を調整できるように工夫されている。日常生活や社会の中にある数学を関連づけて活用の問題を設定し、イラストを用いて生徒の数学を学ぶ意欲が高められるような工夫をしている。 <数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫> ○巻頭の「数学の学習を始めよう」では、数学的活動を通じた問題発見・解決の方法や、数学的に考える資質・能力を育成するための学び方が表現されている。また、生徒が数学的な見方・考え方を働かせることができるように、「大切な見方・考え方」が生徒にわかりやすく示されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○各章に授業で活用できる対話型のワークシートが教科書の巻末に添付されており、観点別評価の材料の1つとなっている。 ○原理や性質を実感できる活動用の教具が巻末付録についており、意欲的に取り組めるような工夫がされている。 ○各小節を見開き2ページ構成として、生徒にとって授業の流れがわかりやすいレイアウトになっている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○適切にふりがながつけられており、発達段階に配慮されている。 ○数学的に説明をする学習の初期段階では、穴埋め形式で説明を完成させるなど、数学的な表現力が段階的に身に付けられるようになっている。 ○ユニバーサルデザインの視点で編集されている。 ○イラストや吹き出しなどで効果的な学習支援を行っている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○学習場面の横欄に「大切な見方・考え方」を汎用的な見方・考え方の表示とその場面に応じた具体的な見方・考え方を示すことで、学習を進める際に働かせる数学的な見方・考え方を意識化させる工夫がされている。 ○小節ごとに「めあて」が示され、「例」に見出しがついていることで、学習内容を分かりやすく表示している。また、小節末に「次の課題」が示されており、新たな課題に気付かせるよう工夫がされている。</p>	

種目（理科）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>新編 新しい科学</p>	<p>2</p> <hr/> <p>東書</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○つまずきやすい内容には「例題」「練習」を設定し、「考え方」で丁寧な解説を示すことで、基礎・基本の定着を図れるようになっている。学習の流れが「アイコン」によって示されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○「問題発見」「仮説」「構想」「分析・解釈」「検討・改善」など、探究の過程に直結した活動を配置し、思考力、判断力、表現力等が育成できるよう工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○学習内容への興味関心を高めるために、「問題発見 レッツスタート！」が設定されており、生徒の身近な題材を取り上げ、目的意識をもって主体的に学びに向かえる工夫がされている。</p> <p><科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫></p> <p>○「問題発見」や「仮説」など探究のステップが言語化されている。「学びのフローチャート」により、探究の流れを確認できるようになっており、学びが深まる工夫がされている。</p> <p><日常生活や他教科等との関連を図るための工夫></p> <p>○身近な疑問や例が多数掲載されており、日常生活と関連付けながら学ぶことができるようになっている。「まちなか科学」「お仕事図鑑」「歴史にアクセス」など防災コラムやSDGsと関連したものなどが示されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○豊富なQRコンテンツが用意され、一人ひとりのニーズや学習形態に応じて閲覧や使用することができる。基本問題や実験器具の基本操作をはじめ、社会につながる科学などのコラム動画も用意されている。</p> <p>○教科書のサイズがAB版となっており、写真やイラスト、図などが多く掲載され、1つのページにダイナミックに写真が使われている。資料も本文の説明を補ったり、それだけで確認ができたりと効果的に掲載されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○「アイコン」の統一がされており、情報が整理されている。本文・図・注釈など、主要な書体には、ユニバーサルデザイン書体が採用されている。</p> <p>○発達段階に応じて、振り返りの活動や、自分ならどうするのかを判断する場面が意図的に増やされている。また、3年生では説明を求める表現も多くなっており、より高い資質能力の育成が図られるようになっている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○紙×デジタル＝学力向上を大きく打ち出しており、授業中に学習端末を使って学びを深めていける工夫や、学習端末を使って予習や復習ができる工夫がされている。また、QRコンテンツの量も充実している。学習の流れが「学びのフローチャート」により見える化されており、生徒の思考の手助けとなっている。また、理科では重要な写真や図、資料などが見やすくダイナミックに掲載されており、生徒の興味関心をひく構成となっている。</p>	

種目（理科）

<p>書名 項目</p>	<p>理科の世界</p>	<p>4 大日本</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○観察・実験において図や写真を多く掲載するほか、基本操作、WEBコンテンツが用意されている。既習事項の振り返りや章末問題、単元末のまとめ、単元末問題など知識の定着に向けて工夫がされている。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○観察・実験では「結果の整理」「結果から考えよう」で結果・考察の視点が示されている。キャラクターの問いかけや発言をヒントにして、生徒が自分で思考を進められるよう工夫がされている。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○教科書全体を通して、明快な構成、分かりやすい文章や図が用いられる。単元や章の導入には、魅力的・印象的な写真を使用し、興味・関心をひきつけ、学ぶ意欲を高める工夫がされている。 <科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫> ○探究の過程に沿って学習が進められるよう明確なマークがあり、各学年で重視する項目はマークがより目立つデザインとなっている。また、単元末に「探究活動」が設定され、学習したことを活用し探究する工夫がされている。 <日常生活や他教科等との関連を図るための工夫> ○SDGs、STEAM教育、国際理解、文化・伝統・歴史、キャリア教育、防災・減災、他教科とのつながりなどマークを用いて分かりやすく記載されており、理科で学んだことを他につなげて考えられるよう工夫がされている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○資料や表のデータ、写真などは、学習内容に適したものを精選して掲載されている。「くらしの中の理科」など実生活に結び付く話題を多く取り上げ、学んだことをつなげ、広げる工夫がされている。 ○QRコードから実験器具の基本操作などが繰り返し確認できるようになっている。さらに全ての観察・実験方法の解説動画やWEBテストなど、多くのWEBコンテンツが用意されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○用語や数値は学習指導要領、学術用語集、理科年表、化学便覧などに従って、表記されている。重要語句はゴシック体で表し、振り仮名をつけている。 ○UDを意識し、特別支援教育にも対応したすべての生徒に見やすく使いやすい紙面レイアウトになっている。冗長さを避け簡潔な表現にし、1学年の本文や囲み資料の文字を2、3学年よりも大きくして読みやすくしている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○章の基本構成が課題の把握、課題の探究、課題の解決と明確である。また、探究活動、単元のまとめ、巻末資料など学びを深める内容が充実している。理科の学びが他とつながり、広がるよう資料が多数掲載されている。誰にでも使いやすい教科書をテーマにして内容や表記の工夫がされている。二次元コードからの「理科の世界WEB」に加え、「理科の世界WEBプラス」のWEBページが新設され、コンテンツが充実している。</p>	

種目（理科）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>中学校 科学</p>	<p>11</p> <hr/> <p>学図</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○知識や理解を高めるページを簡潔にまとめ、探究のページの体裁を明確に独立させている。また、QRコード先のインターネット教材として、観察・実験手順や器具の基本操作の動画、基礎問題等を充実させている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○話し合いを重視した学習活動が設定されており、結果を整理して分析・解釈したり、表現したりする力が育つように工夫されている。コラム「理路整然」では、生徒の表現力を育む具体的なポイントが解説されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○巻頭には、身近な生活の中で、科学的な探究がどのように役立つかという学習の意義が解説されている。単元のはじめの「学びのあしあと」では、生徒自身が自分の成長を認識でき、進んで学ぶ意欲を育めるようになっている。</p> <p><科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫></p> <p>○探究のページでは手順を全て写真で示し、丁寧な記述が掲載され、主体的に探究活動が進められるよう工夫されている。実験ページ内のコラム「理路整然」では探究する力を学年ごとに段階的に育成できるようになっている。</p> <p><日常生活や他教科等との関連を図るための工夫></p> <p>○コラムや巻末資料に、理科の学習と日常生活や社会との関連した話題が多数取り上げられている。キャラクターの吹き出しや、「つながり・数学」などのマークの箇所、他教科との関連が紹介されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○教科書全ページをウェブページ化し、QRコード先から接続できるようになっている。常に更新される科学ニュース、自主学习用チャットボット等を準備し、生徒の学習意欲を高めるよう工夫されている。</p> <p>○定期テスト用の素材、CBTの練習問題の配信がある。CBTのシステム「GAKCBT」の運用を開始し、全ての生徒が理科のCBT形式の問題に取り組めるよう工夫されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○漢字は常用漢字表に掲載されたものであり、専門用語や小学校の配当漢字以外の常用漢字には、振り仮名が振られている。</p> <p>○各ページに設けられたQRコードからは、日本語の振り仮名・分かち書き対応や、6か国語への翻訳が可能な「ミライ教科書」に接続することができ、個に応じた支援ができるようになっている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○教科書の各ページにQRコードが記載されており、すべての教科書紙面がウェブページで確認できるようになっている。動画・操作系の教材が充実しており、ICTを効果的に活用できる場面が多く設定されている。1時間ごとの課題とまとめ、観察・実験の問いかけのヒントが示されており、授業づくりにつながられるようになっている。コラム「理路整然」が配置され、探究の組み立て方のヒントになったり、深めることにつながったりしている。</p>	

種目（理科）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>自然の探究 中学理科</p>	<p>17</p> <hr/> <p>教出</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○器具を使う場面に「基礎技能」を掲載し、使い方を確実に習得できる工夫がされている。章や節の最後に「要点と重要用語の整理」「基本問題」「活用問題」を設け、重要語句や基本事項が確認できるように工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○レポート例を多数掲載し、思考力・表現力をつけられるよう工夫されている。「話し合おう」という部分を設けており、生徒一人一人が、自分の考えをもつ場面や、考えを発表したり交流したりする場面が数多く設定されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○「学習前の私」「学習後の私」で、日常と関連づけながら、生徒自身の科学的な概念の変容を認識させる場面を設け、自らの学習を調整しながら学習を深められるよう工夫されている。</p> <p><科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫></p> <p>○観察・実験の手順を詳しく示すとともに、結果を表にまとめ、考察の観点が示されている。「疑問から探究してみよう」では、見通しをもって観察・実験ができるように配慮されている。</p> <p><日常生活や他教科等との関連を図るための工夫></p> <p>○「ハローサイエンス」において、理科で学習する原理や規則性などが日常生活や社会で活用されていることにふれ、理科の有用性を実感できるように工夫されている。自然災害について学習する章を全学年に掲載されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○教科書に掲載されているQRコードからアクセスできる「まなびリンク」にデジタルコンテンツを多数設置しており、習熟度に合った個別最適な学びを実現するための工夫がされている。</p> <p>○見開き表示などにダイナミックな写真を配置することで生徒の興味関心を高めるよう工夫されている。単元末にコラム「広がる科学の世界」を設定し、高等学校への接続や発展を意識した資料が掲載されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○本文の文字サイズを小学6年の教科書から少しずつ小さくなるように調整されている。UDフォントを使用し、重要用語に振り仮名が振られている。</p> <p>○探究の過程を統一感のあるマーク（課題、仮説など）で示し、上から下に読めるシンプルなレイアウトにされている。観察・実験のページでは矢印を用いて実験の流れを明確にする工夫がされている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○本文の文字サイズを小学6年の教科書から少しずつ小さくなるように調整していることによって段階的に理科の学習を進める工夫がされている。探究の進め方がわかりやすく明記されており、各単元で1か所程度、探究の進め方にそった指導が効果的な部分に設定されている。教科書にQRコードが多く掲載されており、豊富なコンテンツから生徒一人一人の学習の充実をサポートする工夫がされている。</p>	

種目（理科）

<p>書名 項目</p>	<p>未来へひろがるサイエンス</p>	<p>61 啓林館</p>
<p>内容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○随所に既習事項が示され、章末や単元末、デジタルコンテンツで重要語句や基本事項が確認できるように工夫されている。観察・実験では手順がステップに分けられ、図や写真を用いて示されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○各章が探究的な学習活動を行う構成となっている。「探Q実習」「探Q実験」「Action 活用してみよう」などでは、自分の言葉でまとめさせることで、思考力や表現力を育成する場面が設定されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○各単元に「探Q実験」が設定され「探Qシート」を活用して主体的に学習させるための工夫がされている。SDGsの実現に向けた日本各地の取組を紹介することで、生徒自らが持続可能な社会を意識できるようになっている。</p> <p><科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫> ○探究の過程が1本のラインで示されており、探究的な展開を基本とした構成になっている。「疑問」から「考察」までが段階的に配置されており、見通しをもって観察・実験ができるように配慮されている。</p> <p><日常生活や他教科等との関連を図るための工夫> ○科学コラムでは、日常生活や社会との関わりが紹介され、理科の有用性を実感できるようになっている。また、各教科で学習した内容について、マークが付けられ、他教科とつながりを持たせるよう配慮されている。</p>	
<p>資料</p>	<p>○新しく正確な資料が掲載されている。単元末の「ひろがる世界」では、日常の話題、最新の科学技術、エネルギー問題などに関する話題が取り上げられ、学びの広がりや深まり、理科の有用性を実感できる工夫がされている。</p> <p>○「サイエンス資料」は、基本的に学習内容に近い場所に配置され、汎用性の高いものは巻末などに配置されて、使いやすくなっている。図や写真を紙面上部に集めることによって、視覚的に対象物を認知しやすくなっている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○本文などはUDフォントで統一され、重要語句や式は太字のゴシック体が使用されている。重要語句などには識字をサポートするために振り仮名が振られ、公式は下地の色を変え、単位を付けて表記されている。</p> <p>○実験の注意事項が、マークと配色を変えた文字で示されている。紙面の内容が判別しやすいデザインや配色が用いられている。</p>	
<p>総括</p>	<p>○単元や章の導入では、QRコード「はてなスイッチ」から学びをスタートできるように工夫されている。節の構成が、「課題の把握」「課題の追究」「課題の解決」の順に構成されており、探究する力を育てる構成となっている。「探Q実験」では、仮説や計画などを生徒自身が考えることで、生徒が主体的に探究活動できるように配慮されている。各章末や単元末にはQRコードが設けられており、繰り返し学習できるように工夫がされている。</p>	

種目（音楽 一般）

<p>書名 項目</p>	<p>中学音楽 音楽のおくりもの</p>	<p>17 教出</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○各ページの隅や巻末に楽典に関する内容が提示されており、学習を進める際に随時、確認することができるように配慮されている。 ○「Let's Try!指揮をしてみよう」では、必要な技能が理解しやすく説明されており、発達の段階に応じて習得できるよう工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○鑑賞・歌唱・創作の教材を関連させて配置しており、思考力、判断力、表現力が深められるように工夫されている。 ○「Active!」「話し合おう」では、単元の目標にせまるための考えを記述することができるメモ欄が効果的に配置されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「学習MAP」では、各領域の学習内容とその計画や「学習の進め方」が提示されており、見通しをもって取り組めるように配慮されている。</p> <p><音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫> ○学習を進める際のサポートとなるよう、QRコードが適宜配置されており、生徒が必要に応じて活用できるように工夫されている。</p> <p><生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫> ○コンピュータと音楽の関わりについて学年ごとに継続して紹介されており、現代社会における音楽文化の広がりを感じられる工夫がされている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○「Sing!Sing!」「Let's Try」では、イラストを用いた説明で、手順などが理解しやすいよう工夫されている。 ○各教材に教科書内にワークシートが用意されており、随時、考えたことや思いを詳しく記入することができ、学習を深められるようになっている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○奏法の楽譜上における表し方など、詳しい説明が掲載されている。 ○白が基調のシンプルなページが多く、見やすいよう配色やレイアウトが工夫されている。 ○楽譜の中に出てくる音楽記号は、注釈として読み方と意味が掲載されており、中学生の発達段階に十分配慮されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○教科書の中に詳しい説明やワークシートが用意されており、教科書だけで指導を完結することができる構成となっている。 ○歌唱共通教材は「日本の歌 みんなの歌」として、歌詞の内容に忠実な写真を掲載してイメージをもてるように取り扱っている。 ○「学習MAP」により、歌唱・鑑賞・創作の関わりや、学習の進め方についての説明があり、見通しをもつことができるよう工夫されている。</p>	

種目（音楽 一般）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>中学生の音楽</p>	<p>27</p> <hr/> <p>教芸</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○QRコードが豊富に掲載されており、伴奏音源や譜例を活用して主体的な学習ができるように工夫されている。</p> <p>○「My Voice!」では、歌唱や指揮についての技能を、系統的・継続的に取り扱っており、発達に応じて歌う技能を高める工夫がされている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○鑑賞・歌唱・調べ学習の教材を関連させて配置しており、思考力、判断力、表現力が深められるように工夫されている。</p> <p>○考えるポイントが提示されていたり、吹き出しで考えるヒントが紹介されていたり、単元の学習目標にせまるための工夫がされている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○巻末に「音楽の学びを振り返ろう」のページがあり、学習内容を振り返り、定着を図り学力を深めるための工夫がされている。</p> <p><音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫></p> <p>○QRコードで学習に使用できるワークシートが用意されており、必要に応じて活用することができる配慮がされている。</p> <p><生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫></p> <p>○著作権やテクノロジーの発展に伴う音楽文化の変化を豊富な写真で生徒の感性に刺激を与え、生活や社会の中での音楽との関わりを学習できるよう工夫されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○写真や図版が豊富に掲載されており、大きさやレイアウトも細部にわたり配慮されている。</p> <p>○各教材に教科書内に記述欄が用意されており、随時、自分の考えや気付きについて記入することができる。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○楽譜や音符、イラスト、写真が組み合わせられていて、わかりやすく見やすい。</p> <p>○カラーで色分けされているページが多く、わかりやすい。</p> <p>○楽譜の中に出てくる音楽記号は、注釈として巻末掲載のページが記されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○QRコードが豊富に掲載されており、伴奏、譜例、説明資料、創作ツールなどの資料も十分かつ適切に取り扱われている。</p> <p>○歌唱共通教材は「心の歌」として、長い間歌い継がれ、これからも歌い継いでいきたい歌として、歌詞の内容に忠実な写真を掲載して扱っている。</p> <p>○「学習内容」では、歌唱・鑑賞・創作の関わりや、教材と学習内容との関連を提示しており、学習の見通しをもてるよう配慮されている。</p>	

種目（音楽 器楽合奏）

<p>書名 項目</p>	<p>中学器楽 音楽のおくりもの</p>	<p>17 ―― [教出]</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○基礎的・基本的な技能を身に付けることができるよう、演奏に必要な知識が写真や図などを用いて、適宜示されている。 ○基本から発展へと繋がるように、簡易な曲からまとめの曲まで教材の配置が工夫されており、学びの流れが一貫している。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○学習目標にせまるための手立てとして、イラストの吹き出しで思考を深める問いかけがされるなどの工夫されている。 ○「音のスケッチ」は、創作や演奏を通して音楽の構造について考える実験的な課題であり、音色や奏法について、創意工夫が図られている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○楽曲が基礎的、簡易なものから発展的で難易度が高いものまで系統的に配置されており、段階的、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 ○各楽器の演奏者による音楽や演奏に対する考えや気持ちが紹介されており、生徒の興味関心が高められる工夫がされている。</p> <p><生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫> ○和楽器で演奏できる楽曲が多く掲載されており、和楽器や伝統音楽を生徒が身近に感じられるよう工夫されている。 ○和楽器の楽曲では、基本的には横譜が用いられ、運指も示されているため、取り組みやすいよう配慮されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○運指や構え方が写真やイラストでわかりやすく提示されており、学習を進める際の手立てとなるよう配慮されている。 ○巻末には、音楽記号や用語のまとめや、折り込みのリコーダー運指表やギター・キーボードコード表が用意されており、学習過程の随所で確認することができるよう工夫されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○カラーユニバーサルデザインやユニバーサルフォントを使用しており、色覚等への特性を踏まえた配慮がされている。 ○楽器ごとにカラーで色分けされたインデックス表示があり、生徒が教科書を扱いやすいように配慮がされている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○楽曲の取り扱いが多岐に渡っており、和楽器を取り入れた重奏曲や合奏曲も取り入れている。 ○QRコードが適宜配置されており、学習を深められるよう配慮されている。 ○説明の文章が簡潔で、文字や写真、楽譜の大きさが中学生の発達段階に配慮されている。 ○創作教材や調べ学習が多く取り扱われている。 ○扱う楽曲数が多く、独奏、重奏、合奏など、難易度が高めな楽曲も掲載されている。</p>	

種目（音楽 器楽合奏）

<p>書名 項目</p>	<p>中学生の器楽</p>	<p>27 教芸</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○基礎的・基本的な技能を身に付けることができるよう、学習内容の確認や練習の手順やポイントが提示されている。 ○各楽器の冒頭には、楽器の部分の名称や奏法について写真とともに詳しい説明や初歩的な練習課題が提示され、無理なく取り組める配慮がされている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「学びのコンパス」では、音楽の諸要素について考える課題が提示されており、イラストの吹き出しを手立てに思考力・判断力を育む工夫がされている。 ○各楽曲のページで思考力、判断力、表現力に関わる「音色」と「奏法」との関わりについて理解を促す目標が提示されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○簡単な練習曲から発達段階に適した楽曲が系統的に掲載されている。また、QRコードにより、個別最適な学びへの工夫が十分にされている。 ○各楽器の演奏者による音楽や演奏に対する考えや気持ちが紹介されており、生徒の興味関心が高められる工夫がされている。</p> <p><生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫> ○バンドスコアや他ジャンルとのコラボレーション、同世代の音楽活動が取り上げられており、音楽や楽器への親しみがもちやすいよう工夫されている。 ○和楽器と他ジャンルとのコラボレーション特集や合奏曲や重奏曲が用意されており、和楽器に親しみやすいよう工夫されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○各教材に学習目標、活動文、音楽を形づくっている要素などが設定され、一目でわかるように提示されている。 ○巻末には、リコーダー運指表やギター・キーボードコード表の他、楽器の図鑑の資料が用意されており、学習過程の随所で確認することができるよう配慮されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○和楽器の教材は、五線譜と和楽器固有の奏法譜が示されている。 ○ユニバーサルフォントの使用と、楽器ごとに色分けされたインデックス表示で、教科書を扱いやすいように配慮されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○奏法の種類や扱う打楽器数が多く、ボディパーカッションや和楽器など多岐に渡った取り扱いが見られる。 ○QRコードなどの情報量が多く、個々の興味関心を満たす工夫が見られる。 ○細部まで詳しく丁寧な説明がされており、文章による情報量が多い。 ○器楽と創作がバランスよく配置されている。 ○難易度が低めの楽曲や生徒が聞きなれた楽曲が多く使われており、取り組みやすいよう工夫されている。</p>	

種目（美術）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>美術</p>	<p>9</p> <hr/> <p>開隆堂</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○多くの題材で、技法の特徴について説明があり、技法についての理解や造形的な視点を理解することのヒントとなっている。 ○各巻末の「学びの資料」に身に付けるべき知識・技能が系統的に示されて、どの題材でも活用できるよう工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○作者の言葉やアイデアスケッチ、原寸大の拡大写真を載せるなど、作者の発想・構想を生徒が学びやすいように工夫されている。 ○「発想・構想」のマークと提案がわかりやすく示されている。また、その前にある「鑑賞」頁も、発想のきっかけに繋げることができる。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻頭の大きな図版とメッセージが、子供の興味関心を高め、幅広く深い美術の世界に気付かせる工夫となっている。 ○各巻末ページには、生徒自身の振り返りを促すメッセージがあり、自分の成長を感じられるようになっている。 <p><一人一人のよさや可能性を伸ばすようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「教科書の使い方」がわかりやすく示され、「美術の用語」の説明やキャラクターの吹き出しで言語活動を充実させられるような工夫がある。 ○1題材を4頁または2頁で構成し、鑑賞から入りの表現に移る流れを示しつつ、行き戻りがしやすいように工夫されている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○QRコードを読み込む前にコンテンツがわかるように示され、各題材の導入に使える動画が「はじめに」として用意されている。 ○マークを使って、留意点がひと目でわかるようになっている。また、著作物についての取り扱い内容が充実し、関連ページへの案内も便利である。 ○名画の部分の原寸大を表示することで、作者の表現の工夫についての鑑賞が行いやすいようになっている。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○白い背景に大きな図版や見出しがバランスよく配置され、UDフォント、カラーユニバーサルデザインを使用し、WEBとの連携が図られている。 ○表紙のテクスチャーを工夫し、材質や筆致に関心がもてるように工夫している。また、裏表紙のテキスト配置もユニークである。 ○学習目標や題材の説明分が、簡潔にまとめられていて、言葉遣いも生徒にとって分かりやすい言葉で表現されている。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○美術2と美術3を一冊にまとめているので、多様な授業展開に対応できる題材が用意され、資料ページにより学びを深めることができる。 ○教科書の幅を広くしたことで余裕をもった紙面構成になり、1冊分も薄いいため紙面が見やすくなっている。 ○道徳科、人権教育、特別支援教育、SDGs、カリキュラムマネジメント等のつながりや関連が配慮されている。 	

種目（美術）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>美術</p>	<p>38</p> <hr/> <p>光村</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○別冊「資料」に知識・技能の内容がまとめられているので、3年間生徒が必要に応じて主体的に使うことができるように工夫されている。</p> <p>○技法動画や体感ツールなどのQRコードのコンテンツにより理解を深めた制作ができ、知識や技能を自ら学べる工夫がされている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○題材によっては「みんなの工夫」として、主題や表現を生み出す複数の過程を明確に示し、それぞれ生徒の試行錯誤を促す工夫がされている。</p> <p>○全ての表現題材に「表現 発想・構想」のページを配し、生徒作品の制作過程を見せることで感性を刺激する工夫がある。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○巻頭の谷川俊太郎の詩（言葉）や多様な作家作品、生徒作品などを扱うことで、美術の学びを生活や社会へ生かそうという気持ちが育める。</p> <p>○鑑賞-表現-鑑賞の紙面構成で授業の流れがわかり、同じ中学生の「みんなの工夫」「体感ミュージアム」などにより学習意欲を高めることができる。</p> <p><一人一人のよさや可能性を伸ばすようにするための工夫></p> <p>○題材ごとに「表現」と「鑑賞」を頁単位等でまとめているため、表現と鑑賞を行き戻りしながら学習することができるようになっている。</p> <p>○一斉指導で教科書を使用する場面のほか、QRコードで解説や技法の動画が見られるため、自分の表現や進度に合わせて確認できるような工夫がある。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○QRコンテンツにより、教科書では掲載しきれない作品例を示したり、音声ガイドや書き込みによって鑑賞を充実させたりするなどの工夫がある。</p> <p>○資料が別冊のため、教科書と一緒に開いて見ることができる。また、コンパクトなので机に置いて場所を取らなくてよい。</p> <p>○制作意欲を刺激する生徒作品と作家作品をバランスよく取り入れている。また、特定の図版では用紙の素材を工夫し、鑑賞の充実を図る工夫がある。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○UDフォント、カラーユニバーサルデザインを使用し、WEBとの連携が図られている。</p> <p>○アイコンの色の統一、「みんなの工夫」の囲み、別冊資料へのリンク表記など、どの生徒にも使いやすくなっている。</p> <p>○「他教科とのつながり」が示されており、教科等横断的な学習の意識を高められるような工夫がされている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○生徒がこの題材で「何をどう学ぶのか」が明確になっており、別冊資料や多種のQRコンテンツにより、授業で参照しやすい。</p> <p>○生徒の活動例の写真がたくさん掲載され、それが活動の参考になり、考えをもち表現や鑑賞の内容を深めるのに役立つ内容構成となっている。</p> <p>○道徳科、人権教育、特別支援教育、SDGs、カリキュラムマネジメント等のつながりや関連が配慮されている。</p>	

種目（美術）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>美術</p>	<p>116</p> <hr/> <p>日 文</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に関連付けた題材名や「造形的な視点」により、〔共通事項〕（知識）への意識をもたせるための工夫がされている。 ○各題材の表現のヒントがあり、題材の内容と関連する巻末の「学習を支える資料」と共に活用することにより知識・技能の習得が図れる。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各題材に「鑑賞の入口」「造形的な視点」があり、発想や構想の手立てとして活用しやすい。 ○「作者の言葉」によって、作者の発想や構想に触れることができ、自分の発想や構想を広げ、深められるように工夫がされている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学年に合わせてオリエンテーションページがあり、その学年の学びを見通すことができる。また、豊富なQRコンテンツで学習意欲を高める工夫がある。 ○デザイン作品が精選され、芸術祭等の多様性や地域性を紹介するなど、美術と社会の関わりを考えることで、美術を愛好する心情を育むことができる。 <p><一人一人のよさや可能性を伸ばすようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○資料動画や技法の説明動画、全国の生徒作品のギャラリーなど、個々の進度に合わせて活用できるQRコンテンツが充実している。 ○原寸大図版や折って立てられる屏風の仕掛けなど、そこからの発見による実感的理解を生み出す工夫がされている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○全ての題材の主文とQRコードの導入動画がセットになっており、指導内容が明確化されることで指導しやすい工夫がなされている。 ○QRコードから多様な生徒作品や360度鑑賞、紙面に登場する作家等のインタビューが見られ、生徒の興味を高め、表現の幅が広げられる。 ○鑑賞図版の原寸大写真や見開き掲載により、生徒の学習意欲を刺激するものになっている。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○白地を基調として作品を生かしたり、UDフォント、カラーユニバーサルデザインを採用したり、WEBとの連携が図られたりしている。 ○「学びの目標」や「表現・鑑賞」、「ICT」のマークなどを工夫し、生徒にとって理解しやすく、教師にとって指導しやすいつくりになっている。 ○表紙と巻頭オリエンテーションのテーマが一体化され、学びが途切れないような授業開きができる工夫がなされている。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○3分冊により、その学年ならではの題材を配するなど、各学年で学ぶことが明確になっており、発達の段階に合わせた指導を行いやすくなっている。 ○地域の芸術祭や現代作家作品、身近なデザインをたくさん紹介しており、生活や社会に豊かに関わる美術を学べる紙面構成となっている。 ○道徳科、人権教育、特別支援教育、SDGs、カリキュラムマネジメント等のつながりや関連が配慮されている。 	

種目（ 保健体育 ）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>新しい保健体育</p>	<p>2</p> <hr/> <p>東 書</p>
<p>内 容</p>	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞</p> <p>○本文では指導内容が簡潔にまとめられている。各章末には「確認の問題」と「活用の問題」があり、知識の定着を図ることができる。技能の学習に関するページでは、イラストや写真により手順がわかりやすく示されている。</p> <p>○知識・技能を習得できるようにするために、巻末にスキルブックがまとめられている。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」では、それぞれのステップで発問が設定され、課題の解決に向けて思考・判断し、表現することができるように工夫されている。</p> <p>○「活用する」では自分で考えたり、考えたことを表現して伝えたりすることで、思考力や表現力を高められるよう工夫されている。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○巻頭に「この教科書の使い方」「保健体育の学習方法」が掲載されており、各単元は「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」の4ステップで構成してあるため学習に主体的に取り組めるように配慮されている。</p> <p>＜生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成するための工夫＞</p> <p>○多くの人がスポーツを楽しんでいる姿から、生涯にわたりスポーツに関わり、楽しさや喜びを味わう意欲がわくよう配慮されている。</p> <p>○各章の扉に「小学校で学習したこと」と「高校で学習すること」、「保健体育の職業」が記載されており、小・中・高のつながりを意識して学習できるように工夫されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○教科書内で「Dマーク」がある項目はインターネットを使用して具体的な場面を映像と音声で伝える動画教材や試行錯誤できるシミュレーション教材など、学びを深められるよう工夫されている。</p> <p>○経験や学んだことを踏まえて課題を見付けることや、学習したことを更に調べたり、考えたことを伝え合ったりすることなどを通して、主体的・対話的で深い学びを実現することができるように学習の流れが工夫されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○発達段階に応じた適切な語句で簡潔明瞭に表現されている。重要語句はゴシック体で区別され、「キーワードの解説」等が設けられている。</p> <p>○学習の流れが一目で分かるようになっている。紙面の色数を限定し、見やすく落ち着いたレイアウトになっている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○どの単元も「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」で構成されているので、生徒が見通しをもって学習に取り組むことができ、また経験の浅い先生にとっても授業がしやすくなっている。</p> <p>○デジタルコンテンツが充実しており、ICT機器を活用した学習が行いやすいようにわかりやすく示されている。</p> <p>○他項目や他教科との関連が示されており、学習したことを既存の知識などと結び付けて考えられるように工夫されている。</p>	

種目（ 保健体育 ）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>中学校保健体育</p>	<p>4</p> <hr/> <p>大日本</p>
<p>内 容</p>	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各小単元の「キーワード」や、各章末で重要語句の再確認をすることで、知識の定着を図ることができるようになっている。WEB マークが示されている箇所は、動画や資料を見ながら学習することができる。 ○折り込みのページは流れが一覧で分かるようになっており、技能の習得がしやすいように工夫している。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」で課題を解決する活動を行ったり、「活用して深めよう」で学習したことを活かす活動を行ったりすることで思考力、判断力、表現力等を育成することができるようになっている。 ○各章末の「学びを活かそう」で、自ら課題を発見し、話し合ったり、対話をしたりして思考力、判断力、表現力等が育成できるよう工夫している。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○導入の活動「つかもう」では生徒に身近な題材や生活について取り上げ、口絵では、生徒が学習する重要性を理解し、自分のこととして捉え、主体的に学習に取り組む態度が養われるように工夫されている。 <p>＜生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○障害のある人達の支援やスポーツボランティア活動が大切であることへの理解を深め、協力や協調ができる人間関係を築けるように工夫されている。 ○各単元に関連する章末資料へのリンクを掲載し、学習内容から発展する様々なトピックに幅広くアプローチできるようにし、一人一人の興味・関心に合わせて学びを広げられるよう工夫されている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○イラストや写真は生徒の学習意欲を喚起したり、興味関心を引いたりするようなものに厳選されている。また、グラフや表は正確性に万全を期するとともに、生徒が視覚的にとらえやすいように工夫されている。 ○本文と資料が左右のページで分けられているため、本文の内容を学習してから資料を参照したり、先に資料から考察・推測を行ってから知識の習得を図ったりと、授業展開の工夫をすることができるようになっている。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○記号やマークは生徒の発達段階に応じて、興味関心を引き理解を助けることができ、マークの名称も添えて内容がわかるようにしている。 ○読みやすい、見やすい紙面となるように本文と資料ページを明確に分けている。読みやすい位置での改行をしている。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○1 単位時間 1 見開きを基本とした分かりやすいページ配分になっており、「つかもう」、「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」、「活用して深めよう」の流れで学習が進められるようになっている。 ○各章末には保健の「見方・考え方」を働かせて思考を深める問いが設けられている。記述欄が広く、表現力も高められるように工夫されている。 ○「ミニ知識」や「発展」などの読み物や資料で、個に応じて学習内容を深めることができるように配慮されている。 	

種目（ 保健体育 ）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>最新 中学校保健体育</p>	<p>50</p> <hr/> <p>大修館</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「学習のまとめ」「章のまとめ」で、学習した知識や技能を確認することができるようになってきている。体を動かして身に付ける内容が「実習」として示されており、写真とイラストでわかりやすく解説されている。 ○各章末の「章のまとめ」では、知識・技能の確認問題で基礎・基本の習得を確認できるようにしている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習のまとめでは学習したことをもとに考えて話し合う活動が、章のまとめでは思考・判断・表現の問題で考えをまとめ記述できるよう工夫されている。 ○各学習項目を「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」の3ステップで構成し、課題解決的な学習過程を通じて思考力、判断力、表現力等が育成できるように工夫している。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各章の最後には知識・技能の確認、思考力・判断力・表現力の育成、生活への応用、学習の振り返りができるよう工夫されている。また生徒に興味・関心のある運動・スポーツに関する話題や、健康課題が取り上げられている。 <p><生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○運動には多様な関わり方や楽しみ方があり、興味関心や能力に応じた運動が示され、日常の運動量の資料から健康の保持増進の実践が推奨されている。 ○巻頭の口絵に、日常生活から国際社会まで保健体育にかかわる出来事を切り取り、ビジュアルな紙面にまとめ、学びを生活や社会につなげられるようにしている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○実際に体を動かして身に付ける内容を「実習」として設定し、写真とイラストでわかりやすく解説する工夫がされている。また、読むべき本文と資料を明確に区別して、紙面を構成する等の工夫がされている。 ○各項目が「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」で構成され、学びを深めることができるように工夫されている。グループで話し合ったり発表し合ったりする活動が数多く設けられている。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○書体や色がとても見やすく、イラストのデザインも工夫され脚注、注釈によって理解を助ける配慮がされている。 ○本文と資料を明確に区別した紙面構成になっている。資料は、目盛や罫線を見やすくしている。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各学習項目をシンプルな3ステップで構成することで、学習の流れを明確化し、学習の見通しを立てやすく、主体的な学習が進められるよう工夫されている。 ○学習内容を実生活と結び付け、自分の知識をもとに理解を深める工夫がされている。効果的なイラストで常に興味関心を引き付ける設計となっている。 ○「章のまとめ」には「知識・技能の確認問題」「思考・判断・表現の問題」や課題を発見する設問があり、生徒の資質・能力を育成する工夫がされている。 	

種目（ 保健体育 ）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>新・中学保健体育</p>	<p>224</p> <hr/> <p>学 研</p>
<p>内 容</p>	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○重要語句については本文中に太字で示すほか、キーワードをマークで示し、章のまとめでも学習したことを確認し、「生かそう」「生活への活用」で習得した知識を活用する学習ができるよう工夫されている。 ○身に付けるべき技能にはマークを付し、イラストや写真、二次元コードから参照できる動画を活用して、実習を通して学習しやすいようにしている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各時間の「エクササイズ」「学びを生かす」で、正解が一つに定まらないような課題を随所に設け、話し合いを促すことを通じて思考力、判断力、表現力等を育成できるよう工夫されている。 ○各章の扉で、学びたいことや学んだことなどを文や絵、図などで記入できるスペースを設け、表現力が育成できるよう工夫されている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各時間の紙面右下に「とりくメーター」を設け、学習への主体的な取組度合いを自己評価し、メタ認知ができるようにし、「とりくメーター」を見返すことで主体的に学習する態度を振り返ることができるようにしている。 <p>＜生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「学びを生かす」で、実践的な課題に取り組みさせることで、生活へ生かす実践力を養うことができるよう工夫されている。 ○保健体育の分野で活躍している人を取り上げたり、学習内容に関連した職業や資格を紹介した「JOB」欄を設けたりして、将来について考えられるよう工夫している。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭に「教科書の使い方」や「さまざまな学習方法」が具体的に示されており、口絵や章の扉は、写真や資料、図などで、学びのイメージや保健体育への学び全体への興味・関心が高められるよう工夫されている。 ○動画、デジタル教材、ワークシート、外部リンク、写真の解説などのデジタルコンテンツを活用したり、各時間見開き右下の「章デジ」で関連する学習内容を確認したりしながら学習できるように工夫されている。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○1時間見開き2ページの基本構成で見通しをもって学習できるように配慮されている。「ウォームアップ」などが同じ場所に配置されていて見やすい。 ○ユニバーサルデザインの考えに基づき、配色や色、フォント、紙色、表現、UDフォントの使用など、誰もが見やすくわかりやすいようにしている。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○1時間の学習の流れが「ウォームアップ」「エクササイズ」「学びを生かす」に統一されており、生徒が見通しをもちながら課題解決的な学習に取り組むことができ、主体的・対話的で深い学びができるよう構成されている。 ○「令和の日本型学校教育」の構築を目指し、保健体育の学び全体を通してウェルビーイングの実現に近づけるよう、構成を工夫している。 ○キャラクター「ウィズ」が吹き出しの発問で学習をサポートしており、学習を広げたり深めたりすることを促している。 	

種目（技術・家庭 技術分野）

<p>書名 項目</p>	<p>新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology</p>	<p>2 東書</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○本文中の重要語句はゴシック体で強調され、技術の原理・法則や基礎的な仕組みについては資料と関連付け、科学的な根拠に基づいて知識を習得できる工夫がされている。太文字が少なく重要語句はスリム化がされている。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○問題解決の道筋として、問題発見・課題設定・設計・計画・製作・育成・評価・改善・修正の流れが明確にされている。学習のまとめに思考・判断・表現を問う問題があり、教員としても問いが立てやすくなっている。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○技術の工夫や技術による最適化について考える活動を行うために、身の回りの技術を見つめるページが冒頭にある。また、自分の問題解決の過程を振り返り、粘り強く取り組んだ内容や新たな課題が確認できるようになっている。 <技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるための工夫> ○生活や社会との結び付きが示され、環境への負荷について常に考えさせるとともに、「環境」マークを付し、保全に寄与する態度が養われるよう工夫がされている。学習段階に合わせて高度な内容を取り扱うようになっている。 <よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うための工夫> ○「SDGsとTechnology」で持続可能な社会の構築に寄与する役割を紹介し、実践的に工夫し創造しようとする態度が養える工夫がされている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○どのような指導計画にも対応できるように豊富な資料が掲載されている。大きく鮮明な写真や図版が多数掲載されている。問題解決例が紹介されているため、生徒の実態に応じて選択することができるようになっている。 ○キャラクターなどを使用し、親近感をもたせる工夫がされている。 ○見開きごとにQRコードがついている。QRによるコンテンツが豊富で、必要な時や興味をもった時に自由に選択・活用できるようになっている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○各節のタイトルは学習活動が端的に表現されている。書体はユニバーサルデザインフォントが使われており、可読性が高められている。また、配色についてもカラーユニバーサルデザインを取り入れたものになっている。 ○専門的な用語については側注や脚注で理解しやすい表現になっている。単位や数値も明確に示されている。見開き1ページで内容が完結されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○図やイラストなどは適切な量で、資料に関しては鮮明で見やすい配置になっている。端末と併用して授業が進められるようにQRコンテンツもあり、個別最適、協働的な学びの視点からも使用しやすくなっている。 ○どの分野も問題解決の道筋が見やすいデザインとなっており、導入としても扱いやすい資料が掲載され、取り掛かりやすい。導入から始まり、学習の流れも明確で授業で使いやすいよう工夫されている。</p>	

種目（技術・家庭 技術分野）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>新技術・家庭 技術分野</p> <p>明日を創造する</p>	<p>6</p> <p>教図</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○見つける・学ぶ・振り返るが基本的な配列となっており、学習意欲の喚起・自主的に学習・学習の確認という流れで構成されている。まとめの問題で知識の習得が図れるよう工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○設計・計画に必要な要素が多数掲載され、設計・計画シートが用意されていることで、表現に難しさを感じる生徒にも取り組みやすくなっている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○各編に「やってみよう」が設けられ、個人、グループで学ぶ問いが設定されている。情報分野には社会と関連させたサステナビリティの資料が掲載され、社会の問題を自らの問題として主体的に取り組める工夫がされている。</p> <p><技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるための工夫></p> <p>○ガイダンスの「私たちの暮らしを支えている技術」では事例紹介をし、どのように技術が利用されているか考えられる工夫がされている。「技ビト」などで実生活との結びつきを深めることができる。</p> <p><よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うための工夫></p> <p>○SDGsの17の目標のマークを関連する学習内容に付けて、日本や世界で起こる諸問題を自らに関わる課題として捉えられる工夫がされている。学んだ知識を生活と結び付け活かせる工夫がされている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○登場する男女のイラストや写真の数、役割、服装などに偏りがないように配慮されている。スキルアシストが別紙として付属されており、実習などの資料として使いやすいものになっている。教科書の最後に設計・計画シートがあり、資料として使いやすいものになっている。</p> <p>○学習内容の精選と重点化が図られ、本文の理解を助けるために必要な写真・イラストが適切な箇所に配分されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○すべての生徒に学習しやすいように、文字が大きく紙面の構成が統一されるように工夫されている。</p> <p>○学習内容の重要語句は、視認性を上げるため青太文字になっている。書体はUD書体が使われ、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。文章を端的にし、図や写真を活用し視覚的に分かりやすい表現がされている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○すべての先生が「見つける・学ぶ・振り返る」の手順で進めやすいように配慮され、生徒が問題解決学習に主体的に取り組むことを重視したものになっている。資料は豊富で視覚的に理解しやすく工夫され、安全面についてもページが設けられており、安全マークが付され丁寧な説明がされている。</p> <p>○設計シート、スキルアシストを活用することで、すべての生徒が問題解決にとりかかりやすいようになっている。</p>	

種目（技術・家庭 技術分野）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>技術・家庭 技術分野</p> <p>テクノロジーに希望をのせて</p>	<p>9</p> <p>開隆堂</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○各内容とも導入・基礎学習・展開・まとめ・評価の順で系統的、発展的に組織され、社会における技術の役割について幅広く知識・技能を習得できる。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○生活や社会の中から技術に関わる問題を見だし、科学的な原理・法則などを踏まえたうえで、計画・設計を行う。実習例が豊富に掲載され、「既存の技術を調べよう」「振り返りシート」が各分野にあり、生徒の考えが可視化できる工夫がされている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○「これからの○○の技術」を通して自身の学びを振り返るとともに、学習内容を生活や社会で実践していこうとする態度を養える工夫がされている。</p> <p><技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるための工夫></p> <p>○各分野において生徒に問題意識をもたせ、振り返ることで生活や社会環境との関わりについて理解を深める工夫がされている。また、環境マークが付され、環境や資源、エネルギーとの関わりについて考える工夫がされている。</p> <p><よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うための工夫></p> <p>○各内容の最後に社会や環境と技術との関わりについての理解に基づき技術の在り方や活用のしかたを客観的に判断・評価し、主体的に活用する態度を育めるようになっている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○必要個所にマークを示すことで生徒が主体的かつ効果的に学習を進めることができるように工夫されている。</p> <p>○生徒が自分で作業しているように見えるアングルで撮影されているものを掲載している。キャラクターは多様性にも配慮され生徒が関心・興味を引きやすいものになっている。</p> <p>○QRコードでより多くの資料が確認でき、理解を深めることができる。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○可読性の高いUD書体が使われ、単語が途中で改行されないようになっている。</p> <p>○数字などの表記も明確にされ見やすいものになっている。</p> <p>○教科書のレイアウトによって書体や文字の大きさが調整され、読みやすく工夫がされている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○身の回りの気づきから知識・技能を学び問題解決を行うことで解決例などを基に思考・判断・表現力を身に付けられるものになっている。また、ガイダンスを通して見方・考え方の働かせ方や技術分野の学習の進め方を身に付けられるものになっている。</p> <p>○コンテンツも多様で、教員がデジタル教科書などを併用しながら行うことで、動画や資料を提供しながら授業を進められるようになっている。</p>	

種目（技術・家庭 家庭分野）

<p>書名 項目</p>	<p>新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して</p>	<p>2 東書</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○切り方や基礎縫いなどがQRコードなどのデジタルコンテンツによって視覚的に学べるようになっている。 ○章末に『学習のまとめ』を配置しており、重要語句を自分の言葉で説明するなどして確認し、曖昧になっている学習内容に戻れるようになっている。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○導入に生徒同士が意見交換などの活動を入れていることで、既知のことと課題とが生徒自身に分かりやすく、課題設定しやすいように工夫されている。 ○さまざまな場面で課題に適した思考ツールの活用方法が示されている。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○導入に『レッツスタート』という生徒に身近な題材での活動が入っており、生活と学習内容とを結び付ける工夫がされている。 ○終末に実践したり考えたりする課題があり、学習内容を活かす工夫がされている。 ○学習内容がグループ化されており、各領域の学習がつながっている。 <実践的・体験的な学習活動の工夫> ○各章ごとに中心として働かせたい見方・考え方が明示されている。 ○幼児の学習では保育実習の事前指導、衣食住の学習では基礎技能に関わるものなど、動画資料が多数掲載されている。体験する前に想像したり既習事項を確認したりして、実践的・体験的な活動をすることができる。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○QRコードなどのデジタルコンテンツを用いて、必要な時に必要な生徒が繰り返し動画資料を確認することができるよう工夫されている。 ○写真やイラストが大きく、見やすく分かりやすく掲載されている。 ○調理実習例において、和食・洋食・中華料理など、様々な種類の調理例が掲載されている。 ○調理・被服ともに実習例が多く掲載されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○調理の際の安全と衛生について見開き1ページで確認できたり、まな板の汚れや手指の汚れを実験で視覚化したり、理解を深める工夫がされている。 ○見方・考え方を働かせる場面で独自のキャラクターを登場させている。 ○生徒の理解を高めるため、小・中学校の国語指導との関連を図り、発達の段階に応じた用語等を用いている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○写真がダイナミックでインパクトがあり、生徒の関心・意欲を高めている。QRコード等を用いたデジタルコンテンツが充実しており、技能を視覚的に学びやすくなっている。 ○献立作成の学習の際には、栄養計算を自動で計算してくれるコンテンツがあったり、右利き左利きどちらにも対応した資料があったりなど、すべての生徒が学習しやすい配慮がなされている。</p>	

種目（技術・家庭 家庭分野）

<p>書名 項目</p>	<p>新技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する</p>	<p>6 教図</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○各学習内容に対して、初めにキーワードを示していて、要点がどこなのかが明確になるよう工夫されている。 ○題材の終末において、学んだことを振り返る記載があり、学習内容を確認し、基礎的・基本的な知識技能が習得できるように工夫がされている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○調理実習の実習例において、失敗例とその理由を問う記載がある。 ○各章の頭に『自立度チェック』が挿入されており、どこに課題があるのかが明確になるよう工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○題材の終末に、学んだことを基に自分の課題を設定し、実践するための記載がされている。 ○学習内容が生活とつながっていることを実感しやすいよう、章末に、各領域に関わる職に就いた大人の話を記載する工夫がされている。 ○各領域の学習の流れをパターン化することで、理解しやすくしている。</p> <p><実践的・体験的な学習活動の工夫> ○被服実習において、実際に生徒の生活に必要なものを自分で設計し作ることができるよう、大きさを自分で決められる実習例を掲載している。 ○高齢者疑似体験や介助の活動例、幼児との触れ合い実習の様子などを掲載し、実際に活動機会が持てなくても、学習できるように配慮されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○QRコードなどのデジタルコンテンツを用いて、必要な時に必要な生徒が繰り返し動画資料を確認することができるよう工夫されている。 ○献立バランス計算ソフトがあり、自動で栄養計算をしてくれるなど、学習効果を高める工夫がされている。 ○UDのフォントを用いたり、カラーUDに配慮し、図表の色がはっきりとしたりするなど、見やすくなるよう工夫されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○インデックスが付いており、使いやすく工夫されている。 ○被服実習での安全に関する注意点について、イラストを用いてあげており、視覚的に学べるよう工夫されている。 ○文章が簡潔で、読みやすい箇所で行し、見やすくなる工夫がされている。 ○重要語句が青の太字になっており、見やすくなる工夫がされている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○本文の分量が比較的少なく、資料が多く挿入されている。また、4コマ漫画や失敗例などを示し、家庭分野に苦手意識がある生徒でも楽しんで学べるようになっている。 ○中学校家庭分野での学びが職業や持続可能な社会などにつながっていることが分かるような内容が掲載されており、現在の学びが他の領域や未来につながっていくことが意識しやすい内容になっている。</p>	

種目（技術・家庭 家庭分野）

<p>書名 項目</p>	<p>技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ</p>	<p>9 開隆堂</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○小学校での学習事項が示してあり、学びの系統性が一目で分かりやすく、切り方や基礎縫いなどがデジタルコンテンツによって視覚的に学べる。 ○学習事項を確かめる実験を写真や表で多数掲載しており、根拠を確かめながら学習でき、また視覚的にもその内容を理解しやすいよう工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○『話し合ってみよう』や『考えてみよう』といった話合いや調べ学習を促す記載がされている。 ○巻末において、課題の発見から解決までの流れを多数例示している。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○ガイダンスにおいて、実際に目標を達成している姿を掲載している。 ○導入に身近な題材での活動が入っており、生活と学習内容とを結び付けるための工夫がされている。 ○アクティブラーニングを多数取り入れ、生徒の視野を広げ、深めるための工夫がされている。</p> <p><実践的・体験的な学習活動の工夫> ○ガイダンスにおいて自立と共生について例示しながら説明しており、生活に生かそうとする態度を育成できるように工夫されている。 ○話合い活動の題材や、中学生の取り組み例など、中学生が主役の資料が多く掲載されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○QRコードを用いて、必要な時に必要な生徒が動画資料を確認することができるよう工夫されている。 ○具体的な事例を知ることができるよう、参考資料が多く掲載されている。 ○見やすくなるよう、本文が内側、資料が外側に配置されている。 ○見開き右上に、学習内容に関連したものの写真があり、興味を引く工夫がされている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○UDフォントを使用し、色彩特性に配慮されている。 ○調理の学習において各学習内容における安全と衛生についての記載があり、加えて各調理実習例にも安全と衛生の注意点が記載されている。 ○実習や製作のタイムスケジュールが横流れで統一されており、明確で見やすくなるよう工夫されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○ガイダンスの内容が充実しており、家庭分野の学習の見通しをもちながら、各領域の内容をつなぐ構成になっている。また、写真やグラフなどを用いて、科学的に学習内容を確認することができるようになっている。 ○話合いにおける生活の場面設定や取り組み例など、中学生の目線に立ったものが多く提示されている。多様な立場の人々や暮らしを紹介しておりSDGsと自分の生活との関わりについて考えることができるようになっている。</p>	

種目（英語）

<p>書名 項目</p>	<p>NEW HORIZON English Course</p>	<p>2 東書</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○Practice は、新出文法を扱った練習問題を解いたり、言語活動を行ったりする場で、統合的な言語指導が行えるよう工夫されている。 ○ページ毎の Activity で自分のことを表現する活動を積み重ね、Unit Activity で目的・場面・状況を踏まえた発信活動を行う構成になっている。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○Read and Think 1・2はラウンドリーディングが可能で、視点を変えたり読解のポイントを絞ったりして英文読解力を高められるよう工夫されている。 ○Unit Activityは既習の知識・技能を用いて自己表現する場となっており、思考力・表現力を養う構成になっている。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○学び方コーナーは英語学習のポイントやコツを3年間を通して系統的に取り上げており、主体的に英語を学ぶ態度の育成を目指している。 ○題材や、人物の出身地や性別等が多様であり、外国語や異文化、多様性への理解を深められるよう工夫されている。 <聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫> ○Unit Activityで目的や場面を意識して4技能5領域をバランスよく活用し、Stage Activityでそれらを統合的に活用し、相手を意識した言語活動を行う構成になっている。 ○Real Life Englishでは、聞く、話す（やりとり）、書くに特化し、より実生活に即した実践的なコミュニケーション能力の育成を目指している。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○ダイバーシティメモのコラムは、多様な文化や価値観への気付きを促している。 ○食文化や日本のポップカルチャーなど身近な話題を扱っており、興味・関心をもって学べるよう工夫されている。 ○巻末のSmall Talkには、即興的なやりとりをシミュレーションできる練習用動画が掲載されており、家庭学習をサポートしている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○独自に開発した書体を使用している。より手書きに近い書体で、文字習得に負担がないよう考慮されている。 ○学習者用デジタル教科書は、書き込み機能、日本語訳の表示、動画コンテンツ、用例辞典、デジタルマップ、語順カード、思考ツール、Google翻訳などが掲載されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○巻末資料のSmall Talkは帯活動に適しており、授業で活用することで、対話をする力がつけられるよう工夫されている。 ○QRコードや学習者用デジタル教科書が充実しており、学校だけでなく家庭でも動画を観たり発音を聞いたりすることができ、家庭学習に取り組み易い。 ○単元のゴールが明確で、特に1・2年生では単元を貫く問いを考えながら学習を進め、単元の終わりにその問いに対する自分の考えを述べる構成になっている。</p>	

種目（英語）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>Sunshine English Course</p>	<p>9</p> <p>開隆堂</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○Scenes は実際の場面を想定して描かれており、言語の働きを理解し易い。また、新出表現を1ページにまとめてあり、確認し易い構成になっている ○Scenesの内容を確認した後、ステップを踏みながら新出表現に慣れる活動が設定され、各技能・領域を統合的に学ぶ構成になっている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○本文、Review & Retell、Actionの順に取り組みながら、自己表現につなげており、既習事項を学期末のOur Projectで発揮できる構成になっている。 ○Review & Retellで本文内容を整理して自分の言葉で話し、Actionでは題材に関連したテーマで自己表現に取り組むことで、思考力等の育成を図っている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各単元の目標が示され、学習者が学習の見通しを立てたり、各コーナーで自己評価を重ねたりすることで、自身の学習を調整し易い構成になっている。 ○自国文化や異文化理解、共生や環境、SDGsなどを題材として、地球市民として学習者自身の考えを伝えようとする態度の育成を図っている。 <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○4技能5領域の言語活動をバランスよく配置するとともに、自己表現活動においては複数の技能・領域を組み合わせる場面が設けられている。 ○学期末のOur Projectは各学期や3年間の到達目標が明確で、協働での発表やポスター作成など、対話を通して課題解決を行う構成になっている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○Stepはマッピングや文章の構成、ディスカッションの進め方など、英語学習の重要な技能を系統的に扱う構成になっている。 ○Tuning inは大きな写真で、その単元の題材への関心を高めるとともに、題材の背景知識を身に付けられるよう工夫されている。 ○巻末にSmall Talk表現集があり、表現例を確認しながら主体的に言語活動に取り組むことができるよう工夫されている。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○発達段階に応じた書体を使用している。無理なく文字学習に取り組めるよう配慮されている。 ○学習者用デジタル教科書は、付箋／リンク機能、字幕付き動画、文法解説動画、発表モデル動画、和訳表示機能、単語学習アプリ、フラッシュカードを搭載し、自ら学ぶ生徒の育成を目指している。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○単元を通して英語で何ができるようになるかが視覚化されており、その単元での学習のゴールが明確になっている。 ○QRコンテンツが充実しており、自学自習を助け、英語や異文化への関心付けができるコーナーが設けられている。 ○必要最小限の対話を漫画形式で示し、目的・場面・状況等を意識させ、新出表現にフォーカスさせることで基礎的な学習内容の定着を図っている。 	

種目（英語）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>NEW CROWN English Series</p>	<p>15</p> <p>三省堂</p>
<p>内容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○Scene1で音声による新出表現の導入を行い、Scene2では、その場面等で話された英文を聞いたり読んだりすることで、知識・技能の習得を図っている。</p> <p>○Think about Yourselfでは、Scene 1・2の内容について感じたことや、自分について考えたことを表現することで技能の習得を図っている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○Small Talk Plusで、表現を工夫しながら即興でやり取りし、会話を長く続けたり、議論を深めたりするためのコツを学べる構成になっている。</p> <p>○学期末に合わせて設けられたProjectは既習の知識・技能を用いて自己表現する場となっており、思考力・表現力を養うよう構成されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○目標の設定、活動への取組、振り返りというサイクルで、学習者が主体的に自身の学習を調整する力を養うという工夫がなされている。</p> <p>○他の教科での学習内容を取り入れ、他教科連携を図ることで、異なる視点、広い視野で考えたり表現したりすることができるようにしている。</p> <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫></p> <p>○聞くことから始め、題材を参考に話し、読むことに慣れ、継続的に書くことで、4技能5領域の言語活動をバランスよく行えるよう工夫されている。</p> <p>○各単元末のGoal Activityでは、単元の学習内容を活用し、各技能・領域の定着を振り返る構成になっている。</p>	
<p>資料</p>	<p>○For Self-studyは、英語に向き合うコツ、単語の覚え方、英語表現時の留意などの学び方を紹介し、学習者一人一人に応じた学び方を支援している。</p> <p>○文章の量があまり多くなく、写真やイラストが多く用いられており、興味や関心を引き易い構成になっている。</p> <p>○各技能・領域を示すアイコンが設けられ、各言語活動がどこに焦点を当てているかが明確になっている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○手書きに近い書体を使用している。また、可読性や視認性を配慮したレイアウトになっている。</p> <p>○学習者用デジタル教科書には、題材関連動画、本文のアニメーション動画、文法解説動画、基本文のドリル、フラッシュカード、英和辞典、AIによる発音チェック、発音図鑑による英語の発音の視覚的理解等が掲載されている。</p>	
<p>総括</p>	<p>○各単元の冒頭にGoal Activityが示されており、単元の見通しをもって学習に臨めるような構成になっている。</p> <p>○ストーリーを楽しみながら学べるよう工夫され、英語の授業を通して今日的課題等について考えるきっかけを作っている。</p> <p>○充実したQRコンテンツを活用することで、学習者自身が学びを調整できるよう工夫されている。</p>	

種目（英語）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>ONE WORLD English Course</p>	<p>17</p> <hr/> <p>教出</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○Tool Kitで新出文法を用いたパターンプラクティスを、Taskで当該単元を振り返りながら、書く、話す活動を通じて、知識・技能の習得を図っている。 ○各単元末のGrammarで文法事項を視覚的に分かり易く解説するとともに、当該文法事項を用いたやり取り例を示し、新出表現に慣れさせようとしている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○Think and Try!で本文の内容を参考にやり取りの練習を積み重ね、即興的なやり取りの力の育成を図るActivities Plusにつなげている。 ○Useful Expressionsは日常的な場面でよく使われる表現を扱っており、生きて使える英語に直結する表現を学ぶことができる内容となっている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各単元の冒頭にGoalが示されており、当該単元の目標を意識しながら主体的に学び進められるように工夫されている。 ○性別や身体的特徴、文化の多様性などについて配慮されている。多様な立場や考え方に寄り添いながら、考え、表現する態度の育成を図っている。 <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○Activities Plusでは、即興的なやり取りの力を伸ばす練習や、現実的な場面に即した表現を通して、生きて使える英語の能力の育成を図っている。 ○学期末にProjectが設けられており、学習内容を生かして課題解決に取り組み、学習者の主体的な思考・判断を加えた表現活動を行う内容になっている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元末のTipsは、4技能5領域の知識・技能を高めるためのコツを扱っており、他教科や日常生活にも通じる力の育成を図っている。 ○各技能・領域を表す記号が分かり易く、各活動がどの技能・領域に係るものが明確になっている。 ○必要に応じた写真やイラストが用いられており、内容をイメージし易い。また、シンプルなレイアウトで、文字に集中し易い構成になっている。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○過剰なユニバーサルデザインではなく、文字がはっきりしていて、間隔も十分に学び易い構成になっている。 ○学習者用デジタル教科書は、文法解説、やり取りの見本、本文・語句の音声再生、声の録音・再生機能等があり、音声認識機能で自分の発話が文字で表示され、苦手な発音や抜け落ち易い語句を認識できる内容となっている。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元において、本文の内容を最大限に活用し、学習した英語を自分のものとして「生きて使える実用的な英語力」の育成を目指した構成になっている。 ○アウトプットが苦手な生徒も、言語活動の活動例ややり取りの見本動画を参考に活動に取り組み易くなっている。 ○QRコードから簡単にアクセスできるまなびリンクでは、授業や家庭学習で使える動画や音声、ワークシートなどをダウンロードできる内容となっている。 	

種目（英語）

<p>書名 項目</p>	<p>Here We Go! ENGLISH COURSE</p>	<p>38 光村</p>
<p>内容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○活用できる知識を定着させるため、言語材料をその使用場面や働きと結び付けて繰り返し言語活動を行う構成になっている。 ○ページ左側のストーリーと右側の活動を基に、使用場面と働きが一致した基本本文を繰り返し練習することで新出文法の定着を図っている。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○単元のまとめとなるGoalは目的・場面・状況が明確になっており、手紙の返事や意見文を書くなど取り組み易い言語活動になっている。 ○You're the Writer!は本文の内容に一言加えたり、登場人物の気持ちを代弁して文章を書いたりすることで、思考力等の育成を図っている。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○4技能5領域の学び方や粘り強く言語活動に取り組むためのTIPを紹介し、主体的で自立した学習者の育成を図っている。 ○歴史や人物、現代テクノロジーや今日的課題、学校行事や将来などを題材に、学習者自身の考えやその理由を伝えようとする態度の育成を図っている。 <聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫> ○中間振り返りの段階で、既習の本文から語句や表現を探し、自己表現のためのヒントを参考に、自分なりに工夫して表現する力の育成を図っている。 ○各単元を通して何ができるようになるかという見通しを立て、単元末のGoalで当該単元の学習内容に応じた言語活動を行う構成になっている。</p>	
<p>資料</p>	<p>○英語の学び方ガイドは各技能・領域の学び方、目的や将来に向けた学び方等を示し、学習者が身に付けたい力や学び方を意識できる内容になっている。 ○豊富なインプットから少しずつアウトプットに進む、第二言語習得の理論に沿った学習の流れが紙面化されている。 ○学習の流れや情報のまとまりが分かり易く配置され、直感的に理解できるようにレイアウトされている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○発達段階に応じた書体の使用、誰にでも理解し易い色彩の工夫など、全体的にユニバーサルデザインが意識されている。 ○学習者用デジタル教科書は文字サイズやフォントを自由に変更できる。また、ストーリーの実写ドラマ、アニメ、基本文法学習動画、自分の声の録音・再生機能等があり、スピーキングテストにも取り組める。</p>	
<p>総括</p>	<p>○本文のストーリーが実生活に即した表現による展開となっており、英語を使う目的・場面・状況が明確になっている。 ○QRコードを活用して家庭学習ができるほか、学習者が個別に参照できる英文モデルが用意されており、表現活動の手助けとなるように配慮されている。 ○巻末に各単元のストーリーに沿った写真やイラストがあり、本文を学習者自身の言葉で説明・描写するStory Retellingに取り組む易い構成になっている。</p>	

種目（英語）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>BLUE SKY English Course</p>	<p>61</p> <p>啓林館</p>
<p>内容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各単元の Part は、新出表現を含んだ英文を聞き取ったり話したりすることで、知識・技能の定着を図っている。 ○Focus on Form は当該単元の文法・文構造を系統的に、詳細な解説を加えて整理している。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○Express yourselfは、目的・場面・状況に応じて新出文法を用いて自己表現し、表現力の育成を図っている。 ○Enjoy Chattingは、本文内容に関連する問いについて、ペアやグループで即興的にやり取りする力の育成を図っている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○どのコーナーにも目標を掲載して何ができるようになるかを具体的に設定しており、学習者が見通しをもって学習できるよう配慮されている。 ○自国文化や異文化の理解や今日的課題など多様な題材で学習者に興味をもたせるとともに、自分事として考え、表現する力の育成を図っている。 <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○Let'sシリーズは各技能・領域に特化したコーナーで、各技能等の力や実生活に即したコミュニケーション能力の育成を図っている。 ○各学期末に設けられているProjectは4技能5領域を統合的に活用する言語活動を通して、コミュニケーション能力の育成を図っている。 	
<p>資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○英語の学び方は、語彙、音声、表現の観点から学習に役立つコツを紹介し、学習者自身の主体的な学習を支援している。 ○各言語活動のコーナーには技能・領域を示す記号が付されており、その言語活動の目的を明確にして取り組むことができるよう工夫されている。 ○本文の分量に合わせたイラストや写真、資料が用いられており、本文の内容理解を促している。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○書式や色彩について、ユニバーサルデザインへの配慮がなされている。また、人権や福祉に配慮し、多様性を意識した構成になっている。 ○学習者用デジタル教科書にはペン・付箋などの基本的なツール、読み上げや色反転などの特別支援機能が付いているほか、ピクチャーカードやフラッシュカード、資料映像など豊富なコンテンツが追加されている。 	
<p>総括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元の目標をInput（聞く・読む）とOutput（話す・書く）に分けて設定しており、統合的な指導ができるように工夫されている。 ○各単元は基本的に3つのセクションで構成されており、ラウンド・システムにも対応している。 ○QRコードからアクセスするコンテンツは、学習者が授業や家庭など様々な場面で主体的に学習を進められるよう自己調整可能な機能を搭載している。 	

種目（道徳）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>新編 新しい道徳</p>	<p>2</p> <hr/> <p>東書</p>
<p>内 容</p>	<p><学習指導要領の教科の目標に関わる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○小中連携教材や学年間連携教材を用い、過去の学習と関連付けることで、学びを発展させようという意識づけができるよう工夫されている。 ○「考えよう」「見つめよう」「ぐっと深める」の3つの発問や体験的な学習、ソーシャルスキルコラムなどにより、生徒が多面的・多角的に考えを深められるよう工夫されている。 ○道徳性が育つ教材がバランスよく配置され、また、全学年に防災教育に関する教材を配置して、道徳的判断力を問うように工夫されている。 <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「いじめ問題」は直接的に扱う3つの教材で1つのセクションとして学び、読み物・イラスト・漫画のようにさまざまな視点の教材を用い、考えを深められるよう工夫されている。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○読み物教材だけでなく、写真や挿絵などのビジュアルから考えるものや、漫画やグラフから考える教材が設定されている。 ○各教材末の発問に「ぐっと深める」を設け、1時間の授業の発問をさらに深く考えられるよう工夫されている。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻末資料の心情円を活用することで、個人の考えを可視化し、話し合いの活動を円滑に行えるよう工夫されている。 ○ソーシャルスキルコラムや体験的な学習のページを設け、道徳的価値に迫り、生徒の自己肯定感の醸成を図ることができるよう配慮されている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○人物教材で昨今の社会で活躍した有名人を取り上げたり、NHK for Schoolの教材を取り扱ったりすることで、興味・関心を引くよう工夫されている。 ○挿絵により登場人物の表情や周囲の環境・状況が丁寧に描かれ、生徒が感情移入しやすいよう工夫されている。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○一般的な書体よりも少し太いユニバーサルデザインフォントを使用することで読みやすくしている。挿絵や写真、図版は、見やすい大きさと、適切な位置に配置されている。 ○小学校までに学習した漢字を用いており、中学生にとって難しい表現を避けることで、生徒が「読み」でつまづくことのないように配慮されている。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が自分の考えを深めることができる仕組みとして、「考えよう」や「ぐっと深める」の発問が設定されており、発問に対する自分の考えをまとめることで、道徳的価値に向き合うことができるよう工夫されている。 ○昨今の社会で活躍した有名人を取り上げたり、NHK for Schoolなどの動画教材を取り扱ったりすることで、読むことが苦手な生徒に対しても興味・関心を引くよう工夫されている。 	

種目（ 道 徳 ）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>中学道徳 とびだそう未来へ</p>	<p>17</p> <hr/> <p>教出</p>
<p>内 容</p>	<p><学習指導要領の教科の目標に関わる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○全教材に導入の問いが設けられたり、学校間連携を意識した教材を扱ったりすることで、道徳的価値を意識づけたり、見通しをもって主体的に学んだりすることができるよう工夫されている。 ○教材に3つの問いが設定されていることで、より丁寧で段階的に多面的・多角的な考えを深めることができるよう工夫されている。 ○わかりやすい実践方法の解説のもと体験的な学習を取り入れ、生徒同士の道徳的実践意欲を高められるよう工夫されている。 <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「いじめ問題」と「SDGs」については、複数の教材とコラムを組み合わせたユニットで学び、様々な視点から考えを深められるよう工夫されている。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○教材冒頭には、生徒の問題意識を喚起し、自分に引きつけて考えやすくする問いを設け、主体的に深く考えられるよう工夫されている。 ○教材末尾にある「学びの道しるべ」の段階的に深まっていく問いを活用することで、自己の生き方について深めていくよう配慮されている。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○キャラクターによる発言例を示して、自分の考えをまとめ、それをもとに話し合う言語活動を充実できるよう配慮されている。 ○異なる立場からの視点を取り上げた教材や、登場人物が判断を求められる教材など、「問題解決」に適した教材が掲載されている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○二次元コードから動画教材や心情メーターが使用でき、考えを深められるよう工夫されている。 ○グラフや表など、わかりやすい視覚データを用いて生徒の考えを引き出そうとしている教材が多数掲載されている。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○視認性、可読性が高いユニバーサルデザインフォントを使用したり、発達の段階に応じた大きさの文字を使用したりし、読みやすく配慮されている。 ○学習指導要領の4つの視点のどれに該当するのかを色で分けている。また、教材の冒頭に導入の問いを設けており、道徳的諸価値を意識させる仕組みになっている。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○異なる立場からの視点を取り上げた教材や、登場人物が判断を求められる教材など、「問題解決」に適した教材が掲載されている。また、体験的な学習では、生徒同士の道徳的実践意欲を高められるよう工夫されている。 ○全教材に導入の問いが、教材末尾には「学びの道しるべ」が設けられており、道徳的価値を意識づけたり、自己の生き方について深めていったりできるよう配慮されている。 	

種目（道徳）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>中学道徳</p> <p>きみが いちばん ひかるとき</p>	<p>38</p> <p>光村</p>
<p>内 容</p>	<p><学習指導要領の教科の目標に関わる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○道徳の内容項目を「22のキーワード」として示すことで、これから学ぶ内容と身に付けたい力をわかりやすくする工夫がされ、自分事として教材をとらえられるよう工夫されている。 ○教材末尾の「考えよう」では、生徒が授業で考えるべき道徳的価値が明確化され、生徒が多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。 ○「チャレンジ 問いを立てよう」では、生徒が個人やグループで深めたいことを考え、話合うことで、自ら考え、よりよい生き方を実践する意欲を育てるよう工夫されている。 <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各課題がユニットのテーマとして重点的に取り上げられ、生徒が自分自身に引き寄せながら興味・関心をもって学べるよう工夫されている。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校生活の実態と生徒の成長を考慮して、複数の教材でまとめられたユニット教材で構成され、発達の段階に応じて考えやすいよう配慮されている。 ○学びのテーマを「考えよう」に示し、初めに学びのテーマを共有し、授業の最後にテーマに立ち返り考えを深められるよう工夫されている。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○道徳的な課題を明らかにする問い、道徳的な価値について考えを深める問いの2つが用意され、対話を通してテーマに迫れるよう配慮されている。 ○話合いの時間を十分に確保するため、道徳的な問題が起こっている場面そのものを、挿絵と短い文章で端的に示した教材が掲載されている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○二次元コードから朗読音声や映像資料なども見られ、生徒の興味・関心や意欲が高まるよう工夫されている。 ○場面やコマを区切った読み物も多く、読み易く、心情の変化を感じ取りやすくなるよう工夫されている。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校以上配当の常用漢字すべてや、教材初出の固有名詞に振り仮名がついている。また読みやすさを重視し、熟語の混ぜ書きを避け、生徒の読みのつまずきを避けた表記になっている。 ○題名や見出しは太字やゴシック体を用い、本文はユニバーサルデザインフォントの明朝体を用い、全ての生徒に読みやすいよう配慮されている。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳の内容項目を「22のキーワード」として示したり、教材末尾の「考えよう」等でこれから学ぶ内容と身に付けたい力をわかりやすく示したりし、自分事として教材をとらえられるよう工夫されている。 ○挿絵や短い文章等の教材を用いることで、話合いの時間を確保し、個人の考えだけでなく、対話を通して道徳的な価値について考えを深められるよう配慮されている。 	

種目（ 道 徳 ）

<p>書名 項目</p>	<p>中学道徳 あすを生きる</p>	<p>1 1 6 日文</p>
<p>内 容</p>	<p><学習指導要領の教科の目標に関わる工夫> ○各教材の冒頭に「学びのキーワード」を明示して、自分との関わりで道徳的価値を理解できるよう工夫されている。 ○別冊の「道徳ノート」に自分の考えや友達の意見を書いたりメモしたりすることができるようになっていて、自己を見つめられるよう工夫されている。 ○各教材末尾に、発問に加えて「自分に+1」があり、授業で学んだことを前向きに自分に生かすような発問によって、道徳的判断力や実践意欲と態度の育成ができるようになっている。 <現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○「いじめ問題」ではコラム3つで1つのユニット、「SDGs」では2つで1つのユニットが構成され、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。 <発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫> ○3年間を見据え、系統的・発展的に学年ごとのテーマが設定されており、発達の段階に応じて考えやすいよう配慮されている。 ○各学年に「学びを深めよう」ページが付属され、シンキングツールや話し合いの手法や整理方法など学びを深めるヒントが掲載されている。 <「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○漫画教材やダイナミックなビジュアルの教材、多様な意見を促す教材など、より理解しやすく、議論したくなるような教材を多数掲載している。 ○全学年に短文で取り組みやすい「ミニ教材」が掲載され、内容も発達の段階に配慮し、話し合いの活動の時間が確保できるよう工夫されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○心情メーターや思考ツール、外部リンクなどコンテンツが充実しており、各教材で最も適した補助教材や発展教材を活用し、考えを深められる。 ○漫画教材やダイナミックなイラストを掲載することで、教科書を開いた瞬間に興味・関心が湧いてくるよう工夫されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○中学校で学習するすべての漢字に振り仮名がつけられ、小さな振り仮名でも読み取りやすいゴシック体が使用されており、生徒の読みに対する抵抗を軽減している。 ○各教材の冒頭に、「学びのキーワード」を明示し、生徒が自分との関わりで道徳的価値について考えられるようになっている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○教材の冒頭に「学びのキーワード」を、教材末に「自分に+1」を明示し、自分との関わりで道徳的価値を理解できるようにし、授業で学んだことによって、道徳的判断力や実践意欲と態度の育成ができるよう工夫されている。 ○短文で取り組みやすい「ミニ教材」や漫画教材やダイナミックなビジュアルの教材などで、生徒の興味・関心を高めることで、生徒自らが議論したくなるような教材を多数掲載している。</p>	

種目（道徳）

<p>書名 項目</p>	<p>新版 中学生の道徳 明日への扉</p>	<p>224 学研</p>
<p>内 容</p>	<p><学習指導要領の教科の目標に関わる工夫> ○生徒が「課題・人・未来」の3つとつながることが必要だとし、主体性や広い視野、将来に必要な資質・能力の発見を促す教材になっている。 ○「学びの記録」「学びのメモ」を用いて、生徒が自身の成長を振り返り、自身の課題や目標を考えることができるよう工夫されている。 ○教材末尾の「深めよう」での登場人物を演じる活動や、教科書下段の補助発問などを用いた対話的な活動を通して、より深く道徳性を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○「いじめ問題」や「情報モラル」、「防災教育」に関する教材を各学年で掲載したり、複数の教材を連続して学ぶユニットで構成したりして、深く学べるようになっている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫> ○内容の深まりや視野の広がりなどが学年ごとに工夫され、生徒の生活実態や発達の段階を配慮した教材の配列になっている。 ○教材の前に主題名を置かないことで、多様な考えが生まれやすくし、キープレーズを用いることで教材への関心を掻き立てるよう工夫されている。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○学びを可視化できる思考ツールが紹介され、それらを用いて自分自身で考え、周りの人と話し合いながら道徳性を育成する配慮がされている。 ○従来の読み物教材ではない、新感覚型の教材が充実している。それにより多様な視点から考えることを可能にしている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○世の中で活躍する現代の有名人や、過去の偉人に関する教材を多く掲載し、生徒が興味・関心をもちやすくしている。 ○ワークシートは端的なレイアウトながら、教材を通して生徒が考えたことを、整理しやすいよう工夫されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○中学校で学習する漢字や固有名詞に振り仮名をつけ、漢字の学習状況に関わらず読み進めることができ、文字の大きさや行間も配慮されている。 ○タイトル下にキープレーズが配置され見やすくなっている。判別しやすいユニバーサルデザインフォントが使用され、図表などの見分けがはっきり視認できるカラーユニバーサルデザインが施されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○「課題・人・未来」の3つのつながりを大切にし、「学びの記録」などを用いて自身の成長を振り返り、今後の課題や目標を考えることで、主体性や広い視野、将来に必要な資質・能力の発見を促す教材になっている。 ○タイトル下にキープレーズが配置され見やすくなっている。学びを可視化できる思考ツールが紹介され、それらを用いて自分自身で考え、周りの人と話し合いながら道徳性を育成するよう配慮されている。</p>	

種目（道徳）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>中学生の道徳</p>	<p>232</p> <hr/> <p>あか図</p>
<p>内 容</p>	<p><学習指導要領の教科の目標に関わる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業開きで今の自分を見つめる教材を取り上げたり、巻末に学期ごとと1年間の学習の記録が付けられたりなど、自分自身を見つめ課題を今後につなげていくことができるよう工夫されている。 ○全教材に「自分を見つめて考える」発問と「考えを深める」発問が設けられ、道徳的価値についてさらに深めるよう工夫されている。 ○「マイ・プラス」の設置により、役割演技や話し合い等、生徒の道徳性をさらに育む学習活動がしやすくなっている。 <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「いじめ問題」「情報モラル」「キャリア」「共に生きる社会」について、学年を通して重点的に学習できるようにユニット化され、学びが深まるよう工夫されている。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各学年の巻頭に、テーマごとの教材一覧がわかりやすくまとめられており、3年間を見通して教材が配置されている。 ○教材ごとに、何をどのように考えるのかを授業者と生徒が共有して、ねらいに沿った授業ができるよう工夫されている。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○教材末尾の「自分を見つめて考える」によって、さまざまな視点を投げかけ、対話的な学びを促すよう配慮されている。 ○役割演技や話し合いなどを取り入れた「マイ・プラス」を設置し、色々な立場で想像したり考えたりできるような問いを設定している。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○漫画で読み解く教材や、著名な作家の書き下ろしなど、生徒の興味・関心を引く工夫やコラムによって教材から学びを広げられるよう工夫されている。 ○ページにまたがって掲載された挿絵など、ダイナミックな表現が印象的になっている。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサルデザインフォントが使用され、色の識別だけでなく、マークの形状やデザインの違いなどで、必要な情報がすぐに読み取れるよう配慮されている。 ○冒頭部分には内容項目の視点のみが掲載され、それぞれの見方・考え方を通して思考を深めていくことができるような構成となっている。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○役割演技や話し合いなどを取り入れた「マイ・プラス」や1年間の学習の記録を付けるなど、自分自身を見つめて課題を今後につなげていったり、色々な立場で想像したり考えたりできるよう配慮されている。 ○冒頭部分には内容項目の視点のみが掲載され、それぞれの見方・考え方を通して思考を深めやすくなっている。また、漫画の教材、著名な作家の書き下ろしやコラムなど、生徒の学びをさらに広げられるよう工夫されている。 	

種目（道徳）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>道徳 中学校</p>	<p>233</p> <hr/> <p>日科</p>
<p>内 容</p>	<p><学習指導要領の教科の目標に関わる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○啓発デーや学校行事に合わせた教材配列ができるようになっており、生徒が日常生活や学校生活と結び付け、自分事として考えられるようにしている。 ○教材末に設けられた「考えよう」「深めよう」の発問で、多面的・多角的に道徳的価値について考えることができるよう工夫されている。 ○巻末の「ウェルビーイングカード」を用いて、自分の考えを整理しやすくなるとともに、他者に伝えやすく、他者の考えが伝わりやすくなるよう工夫されている。 <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「情報モラル」「いじめ問題」「人権・福祉・ジェンダー」などを取り上げ、特に、「いじめ問題」は直接的・間接的ないじめについて取り扱い、学校生活の場面から自分事として捉えられるよう工夫されている。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○人間としてどう生きるのかを探求していくための「哲学」的視点を与える教材を各学年に設置している。 ○教材学習後の発問「考えよう」「深めよう」によって、自分の考えを深めたり、他の生徒の考えを聞くことができたりするようになっている。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○読み物教材だけでなく、4コマ漫画・ポスター・インタビューなどを用いることで、話し合い中心の授業にできるよう工夫されている。 ○生徒自身が「よりよい自分」を探求するために、「ウェルビーイングカード」を巻末付録についており、授業で活用できるようになっている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○考えるべき道徳的価値について当事者意識をもたせるために、選挙権と関連付けて問いかける教材を取り扱っている。 ○動画や漫画、写真やグラフなど、多彩な情報を生徒が得ることができるよう工夫されている。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書本文など、全ページでユニバーサルデザインフォントが使用され、カラーユニバーサルデザインの視点から、色使いやマーク類などの用い方などが工夫され、視認性に配慮されている。 ○各教材のタイトルには、学習指導要領に示された4つの視点と内容項目22項目が記載されている。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○現代的な課題について取り上げ、特に、「いじめ問題」は直接的・間接的ないじめについて扱い、学校生活の中での場面を取り上げることで、生徒が日常生活と結び付け、自分事として考えられるようにしている。 ○漫画・ポスター・インタビューなどにより生徒が教材に入り込みやすく、話し合い中心の授業にすることができる。また、「ウェルビーイングカード」を用いて自分の考えを整理し、他者に考えが伝わりやすくなっている。 	